

北海道立図書館
北方資料参考図書解説目録 4
《 アイヌ資料 》

7.0	総記	5
7.02	資料目録	10
7.03	百科事典	15
7.04	論文集・講演集・雑書	15
7.06	学会・博物館	16
7.08	双書・全集	16
7.1	信仰	17
7.2	歴史	17
7.28	人物	18
7.29	地理(アイヌ語地名).....	20
7.3	社会科学	30
7.4	自然観	32
7.5	工学・技術	33
7.6	生産活動	34
7.7	美術・工芸	34
7.8	言語	35
7.9	文学	47
	雑誌記事	47
	索引	50
	所蔵アイヌ関係雑誌	58
	アイヌ関係機関・団体	61

新収資料紹介(平成14年6月~平成14年9月末受入分)..... 65

は し が き

道内の地名には、アイヌ語に由来するものが多くみられます。各地のアイヌ語地名に対する関心も高く、北方資料室にはその解釈や由来について考察した資料も数多くあります。

そのほか、辞典類・民具ほかの図録・文献リストなどアイヌ民族に関する各分野の調査に利用できる資料を紹介します。

北海道立図書館
北方資料参考図書解説目録 4

《 アイヌ資料 》

凡 例

1 収録範囲

- (1) 平成 14 年 9 月末現在、当館北方資料室で所蔵するアイヌ関係資料の中から、図書・雑誌記事など 206 項目を収録。
- (2) 厳密な意味での参考図書だけでなく読み物的なものまで、レファレンスに活用できるものは収めてある。

2 排列

- (1) 分類番号順とした。なお、同一請求記号の中は、書名のアルファベット順にした。
- (2) アイヌ資料の分類は日本十進分類法 (NDC) の分類番号 389 を準用する。また、北方資料をあらわす H を付けた「H389」を「ア」と略記する(ただし、データベース上の表記は「ア 389」となっている)。

3 記載形式

(1) 記述

つぎの例を基本とし、必要に応じて付加、削除がある。洋書のみ区切り記号をもちいた。

									請求記号
書名	副書名	巻次・年次	著編者	出版地	出版者	出版年	ページ数	大きさ	
	叢書注記								

(2) 解題

何の本で、どのように利用できるかがわかるような解説につとめ、項目の排列・収録期間・収録点数・索引、その他の特記事項について述べた。

また、継続的な刊行物は、創刊年・終刊年などの出版の履歴について調査したが、追求できなかったものも多い。さらに、北方資料室の所蔵状況についても記した。

例 所蔵：年次の表記形 < 出版年 > +

+は、それ以降の継続受入予定を表わす。

(アイヌ関係資料目録)

郷土資料アイヌ政策関係目録〔札幌〕〔北海道立図書館〕〔出版年不明〕 1冊 27cm H016.2/Ho

7.0/A

アイヌ文化展展示品図録 大宮 埼玉県立博物館 1972 78p 26cm (地方文化シリーズ
1 北海道)

1972年10月21日から11月19日に行われた特別展の図録。各地から借受けた295点を収録。ほとんどが白黒の図版。簡潔な注がつくものもあり。表紙の書名は『アイヌ文化展』。

7.0/A

アイヌ 学の誕生 金田一と知里と 丸山隆司著 東京 彩流社 2002 309,11p 22cm

金田一京助と知里幸恵、真志保姉弟に焦点を当て、アイヌ学の生成を論じる。巻末資料(巻末 p1~11)に、知里幸恵著『アイヌ神謡集』と彼女の『ノート』『用箋手稿』の比較表があり、同一箇所表記の違いが対比できるようになっている。

7.0/A

アイヌ関係史料 旭川市史編集会議編 旭川 旭川市 1993 p127~153 21cm

『近世蝦夷人物誌』(松浦武四郎著 安政7)のうち上川地方関係部分と、『石狩国上川見聞奇談』(肥塚貴正編 明治4)の全文を収録。巻頭に解題あり。『新旭川市史』第6巻史料1抜刷。

7.0/A

アイヌ民族近代の記録 小川正人,山田伸一編 東京 草風館 1998 621p 22cm

アイヌ自身による記録や著作を収めた『近代民衆の記録 5 アイヌ』(新人物往来社1972)をもとにその特色を残しつつ、その後の調査研究の成果を採り入れ再編集したもの。収録資料の大幅な加除や、解題の全面書換えあり。第1部は『樺太アイヌ申上書』『近文アイヌ給与地紛争記録』『浜益村給与地請願書』、第2部は雑誌・新聞記事等で、『良友』『ウタリグス』『ウタリ乃光リ』『ウタリ之友』『アイヌ新聞』、全道アイヌ青年大会関係新聞記事、旧土人保護施設改善座談会関係記事、第3部は個人の著作『アイヌ物語』(武隈徳三郎著)『アイヌの叫び』(貝沢藤蔵著)と、新聞・雑誌投稿記事等、資料編は収録資料と同時代の官庁による「実態調査」類や法令などの政策資料、和人(シャモ)の論説から「アイヌ人保護」(白仁武)「北海道旧土人保護論」(伊東正三)など。巻末に『ウタリグス』『ウタリ乃光リ』『ウタリ之友』『アイヌ新聞』の内容と総目次、本書および『近代民衆の記録 5』に未収録のアイヌ民族による主要著作目録、本書収録資料の解題を掲載。

7.0/A

アイヌ民族誌 アイヌ文化保存対策協議会編 東京 第一法規出版 1970 800p 図版 48
枚 29cm

それまでのさまざまなアイヌ研究の到達点として、また入門書として役立つよう理解しやすさを旨とし、民族誌として総合的にまとめた資料。人類学的、民族学的に重要な

項目について研究者が分担執筆。人口からアイヌ政策史、地名、外国人による調査、衣食住、交通、年中行事、芸術、文学・言語など。図版多数。監修は児玉作左衛門氏ほか。1969年刊行の上・下巻本（限定版）も所蔵。

7.0/Ho

Exhibition of books related to the Ainu culture. - Sapporo : Hokkaido University Library , 1968. 17p. ; 26cm

第8回日本学術会議のために行われた、アイヌ文化に関する図書の展示目録。ジョン・バチェラー、知里真志保、松浦武四郎、言語学、文学、芸術・工芸、伝承、地誌、歴史、民族学・考古学、一般的なアイヌ研究、アイヌ絵に大別し、日本語書名はそのままローマ字表記をし、英訳を付記。海外出版物も含む。

7.0/Ho/1

アイヌ史 資料編 1 図書資料所蔵目録視聴覚資料所蔵目録 北海道ウタリ協会アイヌ史編集委員会編 札幌 北海道ウタリ協会 1988 1361p 22cm

アイヌ自らの手で体系的なアイヌ史づくりに取組むシリーズの1巻目。通史を描くにはまず資料編からとの意図のもと、この巻では道立図書館や道立文書館を含む道内外の公共・大学・専門図書館等34機関のアイヌ関係資料の所蔵目録を、機関ごとに排列し請求記号を付記。旧記や洋書も含む。

巻末の「アイヌ関係図書所蔵状況一覧」（1986年3月末現在）は、本書未収録の道内図書館や博物館も含む計66機関の所在目録。書名の五十音順にその所在がわかり、本書の書名索引も兼ねる。こちらは旧記と洋書を除く。

7.0/Ho/2

アイヌ史 資料編 2 民具等資料所蔵目録 1 北海道ウタリ協会アイヌ史編集委員会編 札幌 北海道出版企画センター 1988 1015p 22cm

アイヌの民具等有形文化所産のうち、道内の博物館・資料館および類似施設等60機関の所蔵資料の目録。総点数は21,245点。機関別に排列。複製品も含む。巻末に機関名一覧とそれぞれの収録資料点数あり。

7.0/Ho/3

アイヌ史 資料編 3 近現代史料 1 北海道ウタリ協会アイヌ史編集委員会編 札幌 北海道出版企画センター 1991 1014p 図版 22cm

諸議会資料のうち「帝国議会・国会資料」（議事録）と、北海道ウタリ協会に関わる「協会史資料」を収録。「帝国議会・国会資料」（議事録）は、1893（明治26）年から1985（昭和60）年のアイヌ関係の主要なものを、開催回順に示す。「協会史資料」の冒頭には、雑誌『蝦夷の光』（創刊号～4号）『北の光』（創刊号）『先駆者のつどい』（創刊号）の内容目録と、『先駆者の集い』の既刊各号発刊年月日一覧を掲載。続いて活動記録を編

年体で綴る。

7.0/Ho/4

アイヌ史 資料編 4 近現代史料 2 北海道ウタリ協会アイヌ史編集委員会編 札幌 北海道出版企画センター 1989 1085p 22cm

1872年から1985年までの全国の新聞82紙のアイヌ関係「新聞記事表題目録」(年月日順)と、「新聞記事抜粋」から成る。表題目録には82紙とは別に、『アイヌ新聞』『アヌタリアイヌ』『読書北海道』の全号ではないが、号別の表題を掲載。

7.0/Ho/5

アイヌ史 北海道アイヌ協会・北海道ウタリ協会活動史編 北海道ウタリ協会編 札幌 北海道出版企画センター 1994 1438p 27cm

通史編の予定であったが諸般の事情により、昭和初期からの協会の活動史編となった。第1部「機関誌紙」は『蝦夷の光』(創刊号~4号)『北の光』(創刊号)『先駆者の集い』(創刊号~61号)の影印と解説・解題。第2部「アイヌ民族に関する法律制定運動」は1994年2月までの記録と解説。第3部「国際連合関係」は国際先住民作業部会に対する声明と国連総会「世界の先住民の国際年」記念演説を英文・和文併記とし解説を付す。各部冒頭に細目次あり。

7.0/Ho/H2

アイヌ文化採録テープ所在調査報告書 平成2年度 北海道教育庁生涯学習部文化課編 札幌 北海道教育委員会 1991 54p 26cm

アイヌ文化の保存・伝承のために、全国に散在するアイヌ古老からの聞き取りテープや写真、スライド、映像フィルム、レコード、絵画、絵葉書などの所在を調査し、所蔵状況の概要を報告するもの。調査対象は、全国の図書館、大学、博物館、研究所、研究者、道内市町村教育委員会など。

7.0/Ho

アイヌ民俗文化財調査報告書 北海道教育庁社会教育部文化課編 札幌 北海道教育委員会 1982 - 26cm

道内各地の高齢なアイヌ文化伝承者からの聞き取り調査により、民俗文化を地域別、系統的、組織的に採録する報告書。年刊で、年度ごとに地域が異なる。昭和56~平成5年度は「アイヌ民俗調査」で共通調査項目は、ヒグマをめぐる人間活動、植物採集活動、狩猟活動、漁労活動、人間観、自然・超自然的知識、道具・器物・衣服、建築物、自然現象。平成6~10年度は補足調査。各巻末にアイヌ語索引あり。平成11年度からは「アイヌ生活技術伝承実態調査」。道内を5地域に分け、各年度1地域とし、主に大正末期から昭和初期以降に生まれた人への聞き取り調査。伝承者ごとにまとめる。各巻末にアイヌ語出現語彙一覧、人名・地名索引あり。編者は変遷あり。

所蔵：昭 56 - 63 , 平 1 - 13 年度 < 1982 - 2002 > +

7.0/Ko/1

蝦夷風俗彙纂 前編 肥塚貴正編纂 奥並継校 札幌 北海道出版企画センター 1974
1冊 22cm

開拓使明治 15 年刊の複製。高倉新一郎氏の解説によれば、本書は開拓使所蔵の北海道関係の種々の著書の中から、アイヌ関係の記事を集めたもの。巻頭の「蝦夷風俗彙纂引用書解説」(p3~28)は、『蝦夷風土記』ほか 82 点の文献を高倉氏が解題したもので有用。

7.0/Kr

アイヌ 日本の北辺の狩猟、漁、採集の民 ヨーゼフ・クライナー, ハンス ディーター・オイルシュレーガー共著 小松和弘翻訳・編 [三石町(日高)] [小松和弘] 2002
133p 30cm

ドイツのラオテンシュトラオホ・ヨースト博物館コレクション収集の収蔵目録(1987年刊行)の翻訳。かつてボン大学で、旧ソ連を除く全ヨーロッパの博物館に保存されているすべてのアイヌ民族・文化コレクション約 7000 点の 5 年がかりの網羅的かつ詳細な調査・研究が行われ、それを受けてケルン市の博物館で展示会が開催された。その際の図録で約 250 点収録。図版はほとんど白黒だが、個々に解説がつく。巻末に「ヨーロッパの言語による文献精選目録」があり、日本語訳を付記。下訳にあたる 1991 年刊行本も所蔵。

7.0/Kr

Ainu : Jager, Fischer und Sammler in Japans Norden : ein Bestandskatalog der Sammlung des Rautenstrauch-Joest-Museums / Josef Kreiner, Hans-Dieter Olschleger. - Koln : Rauernstrauch-Joest-Museums der Stadt Koln, 1987 . 130 p. ; 28 cm. - (Ethnologica ; n.F., Bd. 12)

上記『アイヌ』の原書。巻末 (p 128 ~ 130) に文献目録あり。

7.0/P

ポン カンピソシ 北海道立アイヌ民族文化研究センター編 札幌 北海道 1996 -
21cm

アイヌ文化を紹介する 32 ページの小冊子で年刊、継続刊行中。内容は、1「イタク はなす」で言葉を、2「イミ 着る」, 3「イペ 食べる」, 4「チセ 住まい」で衣食住を、5「イノミ 祈る」で信仰を、6「ウエネウサラ 口頭文芸」で伝承されてきた物語を、7で「芸能」をとりあげる。カラー印刷で図版も多くわかりやすい。各巻末に、さらに学ぶための参考文献や視聴覚資料、博物館等を紹介・解説している。

所蔵：1 - 7 < 1996 - 2001 > +

7.0/Sa

アイヌの話 佐々木長左衛門著 旭川 旭屋書店 1922 145p 図版 19cm

アイヌ民族を知るための概説書。総説、人口、生活、教育、宗教、裁判法、衛生、産業、言語、昔話から成る。人口では、旧記や国勢調査をもとに、徳川・明治・大正時代の人口比較も掲載。巻末付録に旧土人保護法と旭川町の規程あり。

7.0/Ta

近代民衆の記録 5 アイヌ 谷川健一編 東京 新人物往来社 1972 581p 22cm

アイヌ人自らによる著作や記録を集録。第1部は日記・記録類で、『アイヌ日誌』『近文アイヌ地紛争記録』『金成マツ日記』『対談・アイヌ』、第2部は雑誌で、『良友』『蝦夷の光』(1~3号)『ウタリ乃光リ』(創刊号、8号(抄)、15号(抄))『ウタリ之友』(創刊号)『アイヌ新聞』(抄)『北の光』、第3部は単行本で、『コタン』(違星北斗著)『若きウタリに』(パチエラー八重子著)『アイヌの叫び』(貝沢藤蔵著)『原始林』(森竹竹市著)。小部数印刷だったものが多い。第4部は補助資料として、アイヌ政策の基本資料となる法律や調査など。巻末に解題を付す。『アイヌ民族近代の記録』も参照されたい。

7.02 資料目録

7.02/G

アイヌ文献目録 マルティン・グシンデ編 佐野智恵編 東京 平凡社 1962 109p 21cm
(南山大学選書 3)

日本の研究者によるアイヌ関係の図書や学術雑誌論文の目録。全部ではないが注釈付き。本文は英語。Part 1 は考古学・民族学・言語学・民俗・伝承関係 319 点、Part 2 は人類学関係 349 点。見出し語は著者名で、ローマ字と漢字で表記。タイトルもローマ字・漢字併記の後に英訳を付記。雑誌名は略号で示す。著者名のアルファベット順排列で、同一著者内は刊行年順。英語書名：An annotated bibliography of Ainu studies by Japanese scholars

7.02/A

アイヌ関係資料図録 杉山コレクション 東北歴史博物館編 多賀城 東北歴史博物館
2001 51,10p 30cm

図案家・故杉山寿栄男氏は大正から昭和 10 年代にかけて 20 回も北海道や樺太・千島に渡るなどして資料を収集。大半を空襲で失ったが、被災を免れた資料が東北歴史博物館で収蔵されている。主体となる宝刀・刀装具類には、道内にほとんど残存せず、本州でも遺例が少ない古式のものも多く、刀装具研究上も貴重。大半が未公表であったため、カラー図録として公開されたもの。

7.02/A

アイヌ民族文献目録 欧文編 ノルベルト・R・アダミ編著 小坂洋右訳 札幌 サッポ

口堂書店 1991 128p 26cm

ヨーロッパでもアイヌ民族研究は古くから盛んであった。1565年から1988年までの欧
文のアイヌ民族関係文献のうち、日本以外で出版された論文や単行本の目録。スラブ系
諸言語（ロシア語、ポーランド語）文献も網羅。発表年代順に排列。原文による書誌事
項のあとに、タイトルの日本語訳と言語の略号を記載。巻末に著者名索引を付す。1981
年にドイツで出版された文献目録を大幅に改訂し、日本版として刊行。

7.02/F

アイヌ研究史 ある断面 ふじもとひでを著 札幌 みやま書房 1968 226p 19cm (み
やま双書 2)

巻末付録に「文献年表」があり、1356（正平2）年から1967（昭和42）年までの社会
の出来事を織り交ぜつつ、アイヌ関連の出版物をゴシック体で示す。明治以降は日本と
北海道に分け、おもに市販の雑誌と単行本を掲載。ほかに「試案された北海道先史時代
編年表」（河野広道・名取武光・山内清男・吉崎昌一）もあり。

7.02/Ha

アイヌ資料展覧会出陳目録 市立函館図書館編 函館 市立函館図書館 1950 1冊 26cm
函館図書館で開催された所蔵資料展の目録。500余点を収録し、必要に応じて内容細目
も記す。おおまかな主題ごとに排列。謄写版

7.02/Ha

知里真志保博士著作目録 未定稿 萩中美枝，出村文理編 札幌 〔萩中美枝〕 1969
14p 27cm

1927年から1969年までの全著作（単行本、雑誌・新聞記事）を発表年月順に排列。134
点収録。単行本には、各市町村史の中のアイヌ語関係部分など、分担執筆も含む。2人
の編者の共同刊行と思われる。謄写版

7.02/Hi

日高管内公共図書館（室）アイヌ関係資料所蔵目録 日高管内図書館振興協議会編 浦河
町（日高） 日高管内図書館振興協議会 1983 35p 26cm

北海道の中でも、アイヌ民俗文化を継承している人が多く住む日高支庁管内の各町図
書館（室）が所蔵するアイヌ関係資料所蔵目録。自費出版、昭和40年以前の資料などそ
れぞれ地元の図書館しか所蔵していないものもあり、各所蔵館を明記する。書名の五十
音順排列。内容注記あり。昭和58年8月15日現在。

7.02/I

Ainu bibliography 煎本孝著 札幌 北海道大学 1992 378p 26cm

日本の公共図書館、大学図書館等66館、外国の図書館17館を調査機関とし、資料3,435
点を収録。本文の構成は、著編者（ローマ字・漢字表記）書名（英語・日本語）収録誌

(収録頁、発行年等)からなる。著編者名のアルファベット順排列。

7.02/Ka

「開拓使文書」アイヌ関連件名目録 百瀬響編 札幌 北海道出版企画センター 1999
192p 21cm

北海道立文書館発行の種々の「件名目録」の中から、件名あるいはその下に付された記載事項の中に、明らかにアイヌに関連する記述があるとみなされる文書のみを選択し、年代順に掲載。文政5年から明治13年までの簿書からの抽出。巻末の索引はキーワード分類。分類項目は「地域・民族」「政治・社会・文化」「産業」「その他」に大別し、更に28に細分類して排列。

7.02/Ma

アイヌ文献目録 和文編 松下亘, 君尹彦編著 札幌 みやま書房 1978 428p 26cm

第1部は明治以前に編・著作された文書・記録をその標題の五十音順に排列。所蔵機関明記。直接アイヌに関する記事がなくても、その内容からアイヌの社会を知りうるものはできるだけ取り上げてある。外国文献の和訳は明治以前のものであっても収録していない。第2部は明治元年から昭和50年までの和文によるアイヌ関係の文献。チャシ、内耳土器に関する文献も収録。なお、発行年の不明のもの、小説などのフィクション性の多いもの、氏名入りでない新聞記事は除いてある。全ページが該当するものと部分ページが該当するものに大別し、単行本(全集・講座・シリーズものを含む) 辞典、目録、新聞、逐次刊行物などの順に排列。パンフレット類も含む。文献は年代順。新聞・逐次刊行物は紙(誌)名の五十音順とし、その中は記事の年代順。稀少な文献のみ所蔵機関を略記。巻末に逐次刊行物の誌名と、第2部全体の主題索引あり。

7.02/No

登別市立図書館所蔵知里真志保著作目録 登別市立図書館編 登別 登別市立図書館〔1989〕 8p 26cm

登別市立図書館が所蔵する知里真志保の著作、並びに知里真志保に関する図書を、昭和8年～昭和61年までの発表順に排列。

7.02/No

登別市立図書館所蔵山田秀三著作目録 登別市立図書館編 登別 登別市立図書館〔1988〕 7p 26cm

登別市立図書館が昭和63年4月現在に所蔵する山田秀三の著作を、発表順に排列。
(この時点で所蔵していない文献も収録されている)

7.02/R

ロシア科学アカデミー人類学民族学博物館所蔵アイヌ資料目録 S P b - アイヌプロジェクト調査団編著 東京 草風館 1998 204p 30cm

この目録は 1995～1996 年にロシア科学アカデミー人類学民族学博物館（MAE）およびライプツィヒ、ベルリンの各民族学博物館においてアイヌ民族資料の調査をおこなった成果に基づいてまとめである。写真は主要なものについてカラー128点、モノクロ324点を取り上げている。掲載は概ねコレクション別、資料番号順。表記は原則日・ロ・英の三カ国語を採用。図版、目録に分ける。

7.02/Sa

樺太（サハリン）・千島の先住民族文献 和文編 単行本・小冊子・雑誌文献資料 明治元（1868）～昭和 20（1945）年 吉田千萬編 紋別 北の文化シンポジウム実行委員会 1997 98p 21cm（環オホーツク叢書 1）

明治元年より昭和 20 年までの日本語文献（復刻、抜刷、雑誌論文、資料など）492 点を収録。近世・地図類・写真・外国文献は除く。所蔵機関を付記。樺太、千島、雑誌文献に大別し、樺太・千島はそれぞれ時代区分し、年代順に排列。ものにより内容細目や注記あり。雑誌は誌名の五十音順で、年代順に排列。巻末に参考文献、書名索引、著者名索引あり。また、付録に「南サハリン略図」「南樺太（サハリン）主要地名一覧（日本語・ロシア語対照表）」「明治 17 年以前千島付近ニ於ケル各種族分布図」（鳥居龍蔵）「従北蝦夷至東達韃地図」（秦貞廉）の各図を付す。

7.02/Sh

アイヌ人の著作 式場隆三郎著【出版地不明】式場隆三郎【1942】1冊 27cm

『あいぬ物語』（山辺安之助）、『極北の別天地』（青山東園）、『アイヌ物語』（武隈徳三郎）など 10 点の著作の解説、ほかに『民族』などの雑誌に収録された文献 7 点を紹介。これは、昭和 17 年に発行された「アイヌ書誌」の一部。「アイヌ書誌」は『アイヌ史資料集』補巻〔4〕（北海道出版企画センター 1986 7.08/A/ホ-4）で復刻されている。この内容はアイヌ文献志、江戸時代の文献、諸外国におけるアイヌ文献など 23 項目に分け、各文献についての書誌を紹介。昭和 17 年 1 月 21 日の日付、原稿用紙（式場隆三郎手箋）にペン書き。

7.02/Ta

アイヌ教育関係文献目録 竹ヶ原幸朗，小沢有作著 増補版 札幌 北海道大学 1985 p29～60 26cm

明治以降 1984 年 10 月 31 日までに、日本で刊行・発表されたアイヌ教育に関する文献を図書（115 点）・論文（589 点）・未公刊資料（21 点）の 3 つに区分し、刊行年次順に排列したもの。収録の対象は、アイヌ教育制度・方法・歴史などについて論及した文献、アイヌ教育に関する教育実践及び運動資料、主題に照らして資料的価値の高い未公刊資料、そのほか、重要度の高いアイヌ全般に関する文献。『教育史・比較教育論考』第 11 号抜刷。

7.02/Ta

アイヌ教育関係文献目録 1984～1990 竹ヶ原幸朗，小川正人編 増補改訂版 〔札幌〕
北海道大学 〔1991〕 p63～76 26cm

上記増補版の続編にあたる。1984年11月1日から1990年12月1日までに、日本で
刊行・発表されたアイヌ教育に関する文献を、図書(25点)・論文(88点)に区分し、
刊行順に排列。また、増補版以降収集の文献を収録した「補遺」(142点)を付け加えた。
『教育史・比較教育論考』第15号別刷。

7.02/Ta

明治以前のアイヌ文献 開拓使編「蝦夷風俗彙纂」引用書を中心として 高倉新一郎著
〔東京〕東洋哲学研究所 〔1966〕 p54～72 22cm

明治4年に刊行された「蝦夷風俗彙纂」(全20冊)(肥塚貴正編)を編纂するにあたり
旧記史料82点を引用しているが、その引用書目のうち重要なもの29点について簡単に
解説。『東洋学術研究』第4巻第11号別刷。高倉氏の『アイヌ研究』(北海道大学生生活
協同組合 1996 7.0/Ta)にも収録。既出『蝦夷風俗彙纂』前編(7.0/Ko/1)も参照され
たい。

7.02/Te

アイヌ風俗品陳列目録 帝室博物館編 〔東京〕帝室博物館 1930 32p 図版11枚 19cm
帝室博物館に陳列されたアイヌ資料の目録。住家、衣服、装身具、食物及食器、イナ
ウ、武器、猟具、漁具、宝物についての説明あり。52種(各複数点)を紹介。後半は図
版11種。

7.02/To

東京国立博物館図版目録 アイヌ民族資料篇 東京国立博物館編 東京 東京美術 1992
286p 27cm

東京国立博物館学芸部考古課先史室が保管するアイヌ民族資料を収録。併せて、学芸
部工芸課(金工・刀剣・漆工・染織室)の保管品も収録した。また、ウィルタ・ニブヒ
など隣接する諸民族の資料も紹介している。分類ごとに収蔵年次順排列。図版にはそれ
ぞれ使用民族、時代、原名、型等の説明あり。

7.02/Y

吉田巖著作年表 〔帯広市図書館編〕〔帯広〕〔帯広市図書館〕〔1991〕〔106p〕24cm
題名、掲載紙(誌)名、巻号、発行年月日について一覧。明治31年から昭和3年まで
に新聞、雑誌等に発表した1,251点を掲載。複写本

7.02/Y

幕別町蝦夷文化考古館吉田菊太郎資料目録 幕別町(十勝) 幕別町教育委員会 1992 -
1998 2冊 26cm

故吉田菊太郎氏が広く蒐集したアイヌ民族資料の目録。1「アイヌ民族文化遺産集」は、図版のほかに、資料名、大きさ、備考（和名、寄贈者、その他）を明記。2「文書資料編」は目録編と資料編からなる。目録編は、図書、文書、写真、その他に分けそれぞれ編著者名の五十音順排列。参考として吉田菊太郎主要著作・関係文献目録、吉田菊太郎略年譜を収録。資料編は関連する写真や文書、新聞記事など。奥付・背のタイトル：吉田菊太郎資料目録

7.03 百科事典

7.03/A

アイヌ年誌 〔札幌〕 アイヌ年誌刊行会 1988 - 1997 8冊 26cm

1987年版、1988年版、1989年版、1990・1991年版、1992年版から1995年版まで8冊が刊行されている。構成は、第1部「新聞記事／行事・催物」（その年の発行の新聞に掲載されたアイヌ関係記事を発行日ごとに記載 - 北海道新聞・朝日新聞・毎日新聞・読売新聞・北海タイムスの札幌市内配達最終版）、第2部「文献一覧」（'93年版からはアイヌ民族およびその言語・文化等に関する運動・情報誌一覧もあり）に分け、文献一覧にはその年（1月1日～12月31日）に図書・雑誌・パンフレット等の形で発行または収録されたアイヌ民族に関する日本語文献を収録。

所蔵：1987 - 1989, 1990・1991, 1992 - 1995年版 < 1988 - 1997 >

7.04 論文集・講演集・雑書

7.04/A

アイヌの本 アイヌの文化、考え方、その歴史、そしてアイヌの「現在」が見えてくる一冊！ 東京 宝島社 1993 203p 21cm （別冊宝島EX）

巻末に「スーパーガイド・アイヌ」の項を設け、アイヌに関する図書類を項目別に紹介。また、音声資料／音楽編、映像資料編に分け視聴覚資料も記載。アイヌ関係資料のある博物館・資料館一覧あり。

7.04/A

「アイヌ」 - その再認識 歴史人類学的考察 河野本道著 札幌 北海道出版企画センター 1999 257p 22cm

河野本道氏の記念論文集。主要三資料（「蝦夷画帖」「蝦夷生計図説」「蝦夷嶋図説」）の解説のほかに、「主要類本群一覧」（p138～142）、「アイヌ衣服関係主要参考文献」（p85～90）あり。各章に主要参考文献が多く紹介されており、文献の探索にも参考になる。

7.04/Ho

教員養成大学におけるアイヌ文化の教材化に関する研究 北海道教育大学岩見沢分校編 岩見沢 北海道教育大学岩見沢分校 1991 121p 26cm

1989～1990年度特定研究経費により実施された研究の総括。第3「収集資料」の項に

アイヌ関係音声テープ目録(抄)、アイヌ関係ビデオテープ目録(抄)、アイヌ関係 16 ミリフィルム目録を収録。1991 年 3 月現在、岩見沢分校総合教育部所蔵分。

7.04/Y

アイヌ文化史 吉田菊太郎著 幕別町(十勝) 北海道アイヌ文化保存協会 1958 86p
18cm

「北海道あいぬ人物紹介」(22 名)、「あいぬの恩人」(6 名)、吉良平次郎氏らの人物紹介あり。他に、「あいぬ語解」、巻末に「北海道歴史年表」あり。

7.06 学会・博物館

7.06/A/10

〔アイヌ民族博物館〕企画展 第 10 回 描かれた近世アイヌの風俗 白老町(胆振) アイヌ民族博物館 1994 64p 30cm

「アイヌ絵」の中に見られる風俗について、民族誌的に視察、記述。図版 132 点とその解説を付す。文中のアイヌ語については、その初出において邦訳を付している。

7.06/Ka

樺太庁博物館土俗室陳列品解説 樺太庁博物館〔編〕 豊原(樺太) 樺太庁博物館 1938
20p 22cm

アイヌの部、オロッコ・ギリヤークの部に分け、日用器具類、祭器祈祷具類、狩猟具類、技芸品類、嗜好品用具類、雑具類、衣服の部、楽器類、装身具類、武器などのそれぞれのものの説明あり。例をあげると、「ケマウッシントコ」については、ケマ=脚、シントコ=塗物漆器、脚のついた漆器の樽。「チタラペ」はチタラ=敷く、ペ=物、敷物の意というように説明あり。

7.08 双書・全集

7.08/A/4-5

アイヌ史資料集 第 4 巻 -〔5〕 言語・風俗編 1 -〔5〕 北海道士人会話 1 石川松五郎編 札幌 北海道出版企画センター 1980 21p 21cm 復刻版

明治 35 年石川松五郎発行の復刻版。栗田鉄馬画工の絵、アイヌ語、和語で表記。和単語のイロハ順。

7.08/A/4-6

アイヌ史資料集 第 4 巻 -〔6〕 言語・風俗編 1 -〔6〕 日本国内諸人種の言語 金田一京助編 札幌 北海道出版企画センター 1980 27,14p 21cm 復刻版

大正元年東京人類学会発行の復刻版。アイヌ語の日常語を収録。単語編には和語、北海道アイヌ語、樺太アイヌ語、オロチョン、ギリヤーク、台湾生蕃タイアル語の順に表記、250 語収録。会話編には 21 文例を収める。

7.1 信仰

7.1/A

アイヌの「送り儀礼」に関する文献資料 秋野茂樹編 [白老町(胆振)] アイヌ民族博物館 1998 p61~92 26cm

アイヌ民族博物館蔵書と編者の蔵書、参考資料等からアイヌの送り儀礼に関する文献を抽出した。明治以降、1998年3月までに発行されたもの、旧記に関しては翻刻・発(刊)行されているもので、排列は旧記を除き著(編)者名の五十音順。「動物神の送り儀礼」を中心とし、遺跡にみる送り場、人間の死に関わる送り儀礼等に関しては少数に止めた。資料からの引き写しではなく、実見を原則とするが、それができなかったものには「*未見」の表示がある。『アイヌ民族博物館研究報告』第6号抜刷。

7.2 歴史

7.2/E

日本民衆の歴史 地域編 8 アイヌの歴史 北海道の人びと2 榎森進著 東京 三省堂 1987 262p 20cm

本道開拓に携わった民衆の歴史の中で、北海道に生きる民衆のもう一つの側面、アイヌの歴史とアイヌに対する差別の問題を取り上げたもの。「差別への途」「開拓の嵐のなかで」「差別と臣民のはざままで」「立ち上がるアイヌ」の各章からなる。巻末に参考文献、参考文献・史料紹介(解説つき)、本書関連年表がある。

7.2/Ho

北海道に於けるアイヌ民族略年表 高島章著 [函館] 函館私学振興協議会 1996 20p 26cm

明治3年に始まる東本願寺の開拓において、先住民族である「アイヌ民族」がどのような立場にあったのかを踏まえ、真宗大谷派函館別院の沿革をも交えて資料から作成した年表。旧石器時代から1999年までの西暦、文化の特徴、事項。関連する新聞記事や図、写真も多く使われている。『函館私学振興協議会函館私学研究紀要 中学・高校編』第25号別刷。

7.2/Ko

アイヌ史ノ概説 北海道島および同島周辺地域における古層文化の担い手たちとその後裔 河野本道著 札幌 北海道出版企画センター 1996 287p 17cm (北方新書 002)

アイヌ民族に関わる歴史について述べた本編のほかに、参考資料が充実している。付編として、前近代先古層期から1995年までのアイヌ史略年表、1804~1900年代前半の人口統計、1900年代前半の居住地概図がある。さらに、目録・書誌類、資料集・史料集類、通史・部分史類などのうち、特に重要なものと入手あるいは利用が容易なものを主に参考図書類として紹介する。巻末に、「アイヌ史の前近代先古層期・古層期と日本考古

学上の時代・時期との対照表」「アイヌ史時期・アイヌ文化期・日本史時期対照略表」あり。

7.2/Me

明治前日本人類学・先史学史 アイヌ民族史の研究（黎明期） 児玉作左衛門著 明治前
日本科学史刊行会編 東京 日本学術振興会 1971 794p 22cm

前編は古文献に現れた渡島・蝦夷とアイヌ民族について。中編で、日本人から聞き書きした外国人 10 人の蝦夷記事（天文 17 年から元和 5 年まで）、蝦夷地に行き調査した外国人の蝦夷記事（元和 4 年から寛永 20 年まで）を分けて紹介。後編では、本邦人が書いた天和から宝永までの蝦夷調査記録 9 種について年代順に原文を挙げ、個々に考察する。五十音順の書名索引と人名索引、図版目次がある。

7.2/So

近文アイヌ史年表 その 1 其田良雄編〔旭川〕 市立旭川郷土博物館 1971 p35～46
26cm

明治以降、殖民地政策の中で典型的な例として、その変遷が重要な問題を含んでいる「近文アイヌ」についての年表。1688（元禄元）年から 1912（明治 45）年までについて、西暦と元号、事項の 2 項目を記す。『市立旭川郷土博物館研究報告』第 7 号別刷。

7.28 人物

7.28/A

アイヌ群像 民族の誇りに生きる 飯部紀昭著 東京 御茶の水書房 1995 275p 20cm

現代において、教師・刺繍家・木彫り作家・建築業・文化活動などあらゆるジャンルで活躍するアイヌ民族の人々 26 名の評伝集。その生い立ちから、多彩な活動の状況、根底に流れる精神、いかにしてその文化、伝統を生かし伝承してゆかねばならないかなど、インタビューに答えるかたちで各人それぞれの思いを記述する。肖像など写真も掲載し、経歴も記す。「アイヌ民族の歴史」解説、「アイヌ民族にかかわる年表」があり、北海道旧土人保護法・道ウタリ協会のアイヌ新法（案）についての概説がなされている。

7.28/A

アイヌ人物伝 荒井源次郎遺稿 荒井源次郎著 加藤好男編 札幌 加藤好男 1992 178p
19cm

コシャマイン・シャクシャイン・森竹竹市・山本多助・知里真志保など 40 人の「アイヌ人物伝」と、38 人の「アイヌ人物略伝」、著者の自伝「わが回顧の記」の 3 部からなる。肖像写真あり。人物伝の排列は各人物の生年順。略伝は著者の原稿順。

参考資料に「北海道旧土人保護法」、「荒井源次郎著作年譜」、「人物に関する図書資料」がある。

7.28/C

アイヌ文化研究者・知理真志保博士とその著作目録 出村文理著 札幌 出村文理 2002
p326～330 27cm

知理真志保博士(1909～1961)の略歴と、2001年10月現在購入可能な主要著作、博士学位記授与関係資料(4論文の標題)・博士についての主要伝記類を刊行年月順に記載。さらに、博士の主要著作のみを挙げた著作目録3点と、全著作を網羅した目録5点について解題する。『文献探索』2001(深井人詩編 文献探索研究会)別刷。

7.28/E

エカシとフチ 北の島に生きたひとびとの記録 『エカシとフチ』編集委員会編 札幌 札幌テレビ放送 1983 408p 26cm

札幌テレビ放送創立25周年記念行事の一つとして、30名のエカシとフチに歩んできた人生や喜び、悲しみを語ってもらい収録し、図書として出版したもの。語ったままの口調で統一した。収録の一部は、1年間ラジオ番組としても放送された。アイヌ民族文化の歴史集成であり、証言でもある。エカシやフチの名は五十音順。資料編として別冊『文献上のエカシとフチ』(77p)があり、既刊の文献に記載されている古老の氏名・事績等についての事項索引と、文献目録(419点)などを収める。

7.28/E

エカシとフチを訪ねて 川上勇治著 東京 すずさわ書店 1991 196p 19cm (アイヌ民族シリーズ)

前記『エカシとフチ』の中から、著者の執筆分を別刷りで出版したもの。

あまり学者たちと交流のない、エカシやフチを訪ね歩き、コタンの片隅で苦勞の多い人生を送った人々を取り上げたもので、当時の一般的なごく日常的な暮らしがわかる資料でもある。7人の語りを収録した。肖像あり。

7.28/J

人生を聞く 沙流川の人(サル・ウン・クル)物語 川上勇治著 東京 日本観光文化研究所 1975 p4～41 23cm

沙流川流域に住む沙流アイヌ古老9人のコタンでの日々の暮し、昔話、不思議な話、恐ろしい話、生きてきた足跡を聞き書きで収録した。『あるくみるきく』No.98特集(近畿日本ツーリスト 1975.4)。

7.28/Mu

あいぬ人物伝 村上久吉著 東京 平凡社 1942 208p 19cm

順序不同であるが、アイヌ民族の偉人傑士の伝記を記載したもの。巻末には、「アイヌ教育功勞者伝」を付している。それぞれ肖像写真もあり、いろいろな分野で活躍する多彩な人々を取り上げている。目次には、19名の枕言葉入り氏名紹介。アイヌ教育功勞者伝は、7名の伝記を紹介。

7.28/Mu

あいぬ実話集 村上久吉著 旭川 旭川市立郷土博物館 1955 255p 19cm

『あいぬ人物伝』増補改題。先に付録として載せた「あいぬ教育功労者伝」(7人)はそのまま再録した。36項目41人について生い立ちや功績などに触れている。「実話の面影」「あいぬ教育功労者」など口絵写真あり。

7.28/Ni

アイヌ、いまに生きる 西浦宏己著 東京 新泉社 1997 251p 21cm

アイヌの二世、三世の人々のうち、居住地も違う、独自の感性と価値観を持つ20代から50代の6人を選び、可能な限り「対話」を重ねて、その生き様にアイヌ民族の現状と将来を照らしあわせ記述した。職業、居住地を記す。各肖像写真、スナップ写真多数あり。

7.28/O

しょっぱい河 東京に生きるアイヌたち 小笠原信之著 東京 記録社 1990 233p 20cm

月刊誌『記録』に連載(1987年8月号~1989年6月号)されたものを加筆・修正し、まとめた。東京に暮らすアイヌ民族の人々12名の生き様、観念、目標などを織り込んだそれぞれの人生の語りによる記録。目次に標題と氏名(仮名もあり)。資料として巻末に、1986年の中曽根発言や、「アイヌ民族が存在することを、アイヌ自らがアピールする東京集会」声明、北海道旧土人保護法などを掲載している。巻末に初出一覧あり。

7.28/Ta

アイヌ七話 高橋真著 釧路 アイヌ問題研究所 1965 18p 26cm (アイヌ問題研究第6集)

七話のうち六話が、吉田巖、栗林五朔、(バチェラー)八重子、佐茂菊蔵、斉藤米太郎、前田正名・前田光子の評伝。各人物については、かなり細かな事象や著者の感じたことが記述されている。謄写版。

7.28/Y

アイヌの歌人 湯本喜作著 東京 洋々社 1963 284p 19cm

埋もれたアイヌの歌人の生涯と歌とを、ひろく世に紹介する。前半は、違星北斗、バチェラー八重子、森竹竹市の3人の伝記。後半は、アイヌの信仰、風習、伝説、地名、アイヌの研究者、アイヌ民族の苦難、アイヌの先住民族説や「コタンの口笛」などについて記す。

7.29 地理(アイヌ語地名)

7.29/A

アイヌ語地名 1 網走川 伊藤せいち編著 札幌 北海道出版企画センター 1997 290p 21cm

網走川水系のアイヌ語地名を整理した「アイヌ語地名の戸籍簿」。見出し語はアイヌ語地名のカタカナ表記で、現在の名称（水系・河川番号、標高も含む）所在地、音韻記号、解説、地名採取資料（古い順に列記）などを収録。排列は『北海道河川一覧』（北海道土木協会 1984）の水系番号・河川番号の順。巻末の「基本目録」は掲載順に、アイヌ語地名（音韻記号）現在の呼び名、所在地（行政名）本文のページを一覧できる。「基本索引」は、アイヌ語地名のアルファベット順排列。

7.29/A

アイヌ語地名地誌 上川盆地の川と山 尾崎功著 伊藤せいち監修 旭川 尾崎功 2002
209p 30cm

上川盆地を流れる石狩川・美瑛川ほか河川ごとに地名を集録し、川上から川下へ向って列記する。近藤重蔵『石狩川川筋図』、松浦武四郎による各記録や、陸地測量部の「仮製5万分の1地形図」、北海道庁の「北海道実測切図」（20万分の1）なども引用する。また、新旧地形図を比較して掲載するなど、地形図、図、写真を多用している。巻末に五十音順の地名索引あり。

7.29/A

アイヌ語地名リスト 北海道環境生活部総務課アイヌ施策推進室〔編〕札幌 北海道環境生活部 2001 145p 21×30cm

アイヌ語地名の保存と普及を図るため、平成11年9月に設置された「アイヌ語地名普及会議」が普及方策推進の基礎資料として作成したリスト。山田秀三著『北海道の地名』を中心とした既存の基礎的な地名解の紹介で、その他の自治体刊行物等も加え引用紹介したもの。排列は現在の地名を見出し語とした五十音順。その名称がつけられた地名の区分（川・山岳・駅・地区など）アイヌ語地名のカナ・ローマ字表記、アイヌ語の意味、解釈及び由来、出典を記し、アイヌ語地名普及会議による解釈の確定レベル（A～C）と意見を付す。五十音別索引、市町村別索引あり。

7.29/A

アイヌ語解説 佐藤豊写真・文・編集 浜頓別町（宗谷） 浜頓別文化財愛護少年団 1997
73p 30cm

浜頓別町の地名の由来やアイヌ語地名の語源について。前半は、海岸線（山軽～神威岬）山の名（豊牛～神威岬）頓別川本流筋などの区分ごとに地形図を載せ、地名・理由・出典・著者について記述する。写真も添付されている。後半で、浜頓別の21の行政字名の由来などについて解説する。巻末に「浜頓別町内アイヌ語地名解説比較文献」の一覧がある。

7.29/B

The pit-dwellers of Hokkaido and Ainu place-names considered / by John Batchelor. - Sapporo :

[s.n.], 1925. 48p. ; 23 cm

ジョン・パチェラーは、1923年に初版の『アイヌ語地名解』を出版しているが、本書は、1925年に英語で書かれた、アイヌ語北海道地名解であり、後年、「北海道地名書」の原拠となっている。地名の日本語発音のローマ字表記をアルファベット順に排列し、日本語表記を併記する。アイヌ語形、由来・意味について英語で解説する。

『アイヌ史資料集』補巻〔2〕(北海道出版企画センター 1981 7.08/A/ホ-2)に復刻されている。

7.29/C

地名アイヌ語小辞典 知里真志保著 東京 楡書房 1956 169p 17cm (にれ双書 2)

北海道や樺太の地名の中に出てくる単語の意味や用法を解説。地形、地物の名称だけでなく、動詞、形容詞、副詞、助詞、接頭辞、接尾辞にいたるまで地名の中に現れる可能性のあるものを採録。見出語の排列はローマ字表記のアルファベット順。単語の採集地または使用地を略記する。巻末に用例の補遺と索引がアルファベット順に排列されている。また、「人体部位名の説明図」と「北海道における語彙採集地」、「樺太における語彙採集地」の地図がある。『知里真志保著作集』3(平凡社 1973 7.08/C/3)に収録されている。また、復刻版(北海道出版企画センター 1984 7.29/C)あり。

7.29/C/1

幌別町のアイヌ語地名 地名の由来・伝説と地図 知里真志保, 山田秀三著 室蘭 噴火湾社 1979 34p 22cm (室蘭・登別のアイヌ語地名 其の1)

「幌別町内アイヌ語地名解」は、東から西へ、海岸から奥地へという順序で地名(カタカナ表記)、アイヌ語のローマ字表記とその意味、解釈が記述されている。見出し語数205。「幌別町旧地名図」「登別駅附近説明図」の2枚の地図が付いている。

北海道大学『北方文化研究報告』第13号(1958.3)の抜刷で、知里真志保発行1958年刊(7.29/C)の復刻。

7.29/C/2

室蘭市のアイヌ語地名 地名の由来・伝説と地図 知里真志保, 山田秀三著 室蘭 噴火湾社 1979 61p 22cm (室蘭・登別のアイヌ語地名 其の2)

「室蘭市旧地名考」で、96項を地名の見出し語として取り上げ、室蘭市の地形に沿って排列している。一般に呼び習わされている語を見出し語に、アイヌ語原名、語源を付し、補足的説明を加えた。巻末に「室蘭市アイヌ語地名図稿」、また、本文中の写真及び挿図の目録がある。1960年刊の復刻。北海道大学の『北方文化研究報告』第15号(1960.3)の抜刷。

7.29/C/3

登別・室蘭のアイヌ地名を尋ねて 山田秀三著 室蘭 噴火湾社 1979 148p 22cm (室

蘭・登別のアイヌ語地名 其の3)

前出『幌別町のアイヌ語地名』と『室蘭市のアイヌ語地名』の補遺ともいうべきもの。再調査して主な地名を選び、「登別市の地名雑話」「室蘭市の地名雑話」としてまとめ、それぞれ地区ごとに文章でつづった。巻頭に引用文献(旧記・旧図)の略解があり、『北海道駅名の起源』の版による違いにも触れている。巻末にシリーズ3冊分の地名についての五十音順索引がある。

7.29/D

データベースアイヌ語地名 1 後志 榊原正文編著 札幌 北海道出版企画センター
1997 405p 図版 20p 21cm

その地点がほぼ特定できる後志管内の947件の地名について検証したもの。『大日本沿海実測図：伊能中図』(伊能忠敬原著)、『東西蝦夷山川地理取調図』(松浦武四郎原著)に記載されているアイヌ語地名を基本とし、武四郎の著作である、『川筋取調図』、『竹四郎廻浦日記』、『丁巳東西蝦夷山川地理取調日誌』、『西蝦夷日誌』、及び、『入北記』(玉虫左太夫著)、『北海道蝦夷語地名解』(永田方正著)、『北海道駅名の起源』(勸 15 % 杯 % 年)版

属y挫た一

7.29/Ho

北海道アイヌ語地名集 小原隆幸編 札幌 誠印刷(印刷) 1997 358p 22cm

索引を付けず、その代わりとして収録語をすべて五十音順に排列している。そのため、アイヌ語地名、現地名、地名解釈に使うアイヌ語が混在している。関連語をつけ、アイヌ語地名、現地名どちらからでも引けるようになっている。全道の地名を収録し、地域ごとにまとめていない。説明の冒頭にその地名の現在地を示す。現地名には読みを、アイヌ語地名にはローマ字表記をつける。収録語は多く、各項目の記述は簡潔。

7.29/Ho

「北方四島」のアイヌ語地名ノート 松浦武四郎「山川図」による 榊原正文著 札幌 北海道出版企画センター 1994 334p 17cm

東西蝦夷山川地理取調図を元に歯舞諸島、色丹島、国後島、択捉島の北方四島の 895 地名について解説。島ごとに西南端から時計回りに整理番号をつけ、東西蝦夷山川地理取調図での地名、1992 年発行の五万分の一地形図での地名、アイヌ語をカタカナとローマ字で記載。地名を入れた附図 4 枚あり。

7.29/I

網走湖と女満別のアイヌ語地名 伊藤せいち著 伊藤公平編 北見 オホーツク文化資料館 1990 166p 21cm

網走川沿いの河口から網走市及び女満別町までの地域を主とし、キキン川、田中川についても収めている。140 強の地名を解説。網走川口、網走湖 - 呼人、網走湖 - 女満別・嘉多山・二見岡、女満別川、住吉・本郷・豊里・キキンの順に大別。地名見出しはアイヌ語。現在の地名(水系番号、河川番号、位置)、現住所を記載。現住所については、字名まで。各章の始めにアイヌ語地名を入れた地図があり、一覧できる。原典からの引用、写真・イラストを多用している。アルファベット順のアイヌ語地名の索引あり。

7.29/I

紋別と興部のアイヌ地名 伊藤せいち, 伊藤公平著 紋別 紋別郷土史研究会 1978 101p 19cm (郷土誌 No.5)

興部川、ルロチ、藻興部、沙留、紋別海岸(シュブノッナイまで)の 126 地名の解釈。見出し語はアイヌ語地名。各文献に記載されている異称がある場合は可能な限り記載している。

別表の渚骨川流域の地名の一覧表があり、項目はアイヌ語地名、現地名、各文献での記載名となっている。巻末にはアルファベット順の地名索引あり。

7.29/I

端野町のアイヌ語地名 伊藤公平著 端野町立歴史民俗資料館編 端野町(網走) 端野町教育委員会 1989 60p 26cm (資料館シリーズ No.2)

70 程度の地名を一般書として、読みやすく解説。各文献からの表記名を詳しく挙げて

解釈しており、内容は深い。地名の見出しはアイヌ語（カタカナ表記）五十音順に排列。

7.29/I

十勝アイヌ語地名解 十勝地名解補註 井上寿著 帯広 十勝地方史研究所 1985 118p
18cm

『十勝地名解』（安田巖城著 十勝教育会編・刊 1914）を復刻し、それに注釈及び著者の経歴などを加えて新たに発行したもの。『十勝地名解』は小学校教育用の参考資料として管内の地名の語源をまとめた。正誤表にあったものの他誤字等の修正を加えてあるが、ほぼ全文を掲載している。十勝国の6郡15町村の地名を簡潔に解説。補足として、釧路国に区分されていた足寄郡（足寄町と陸別町）を加えている。町村別に排列し、見出し語はアイヌ語。『十勝地名解』の複写版（H291.034/Y）も所蔵。

7.29/I

常呂町のアイヌ語地名 伊藤せいち著 北見 オホーツク文化資料館 1983 87p 21cm
佐呂間湖・・沸・栄浦、常呂海岸、常呂川筋に大別。海岸は北西から南東へ、川筋は川口から上流へ排列し、解説。見出し語はアイヌ語（音韻記号を付す）。アルファベット順の索引あり。

7.29/Ka

道東地方のアイヌ語地名 国有林とその周辺 鎌田正信著 〔帯広〕〔鎌田正信〕 1995
471p 22cm

十勝・釧路・根室の3支庁管内の主に国有林とその周辺の地名を解釈。国有林内のアイヌ語地名は数多くあるが、今まで研究がなされなかった地名が多い。営林署所轄を単位に16地区に分け西から東へ順に排列。見出しのアイヌ語地名は、帯広営林支局蔵の官林境界図（明治29年から34年にかけて作成された）を底本とし、この他同支局、各営林署管内図から採録。五十音順の索引あり。

7.29/Ma

アイヌ語地名と原日本人 先住者の心をたずねて 松本成美、白糠地名研究会著 東京
現代史出版会 1983 286p 20cm

白糠地名研究会の研究活動の記録。地元の中学生在が参加し活動した記録等も含まれている。巻末にその際に作成されたテキストである「北海道のアイヌ語地名一覧」を収録。全道13支庁（159地名）、釧路支庁（233地名）、白糠町（126地名）の3部構成。13支庁については支庁ごと、釧路支庁については各市町村ごとに地名をごく簡潔に説明。アイヌ語で解釈できる地名を採録。他支庁の地名についてはポピュラーなアイヌ語地名と、特徴のあるもののみ限定。付録に「白糠町内会の由来一覧」あり。また、「日本全国地名考」（豊岡喜一郎）のうち、ナイ、ペツ、オタ、ピラの4つのアイヌ語に限定し抜粋したものを掲載。

7.29/Ma

白糠のアイヌ語地名 松本成美, 白糠地名研究会著 白糠町(釧路) 白糠地名研究会
1985 75p 26cm

白糠町の 151 地名と由来となったアイヌ語を解説。海岸筋の地名、茶路川、庶路川、
和天別川の各川筋の地名、姿を消したアイヌ語地名、地名伝説の 6 項目に大別。地名の
見出しはアイヌ語地名。表記は知里真志保著『地名アイヌ語小辞典』による。

7.29/Mi

津別町の地名起源 三好勲著 津別町(網走) 三好勲 1978 106p 26cm (オホーツク
研究叢書)

津別町全地名の集録を目指し、和語の地名やアイヌ語との関わりの深い河川名などを
含め 280 項目について解釈。構成は産業、地形、植物名など地名の由来となった主題ご
とに大別。アイヌ語を起源にもつものについては、地名解あり。「津別町河川アイヌ語地
名解」は章をあらためて、河川ごとに排列。地名の見出し語はアイヌ語地名。謄写版。

7.29/Mu

室蘭市アイヌ語地名集 市立室蘭図書館編 室蘭 市立室蘭図書館 1953 38p 25cm

45 のアイヌ語地名の起源を小中学生向けに簡潔に解説。附録として「近郊駅名起源」
および「アイヌ語地名单語集」、巻末にアイヌ語地名地図あり。謄写版。

7.29/Ni

枝幸郡アイヌ語地名考 新岡武彦著 札幌 北海道出版企画センター 1986 222p 17cm

枝幸町、浜頓別町、歌登町、中頓別町の 4 町の地名を簡潔に解釈。第 1 章で郡名及び
町名の由来を述べ、その後各町ごとに大別。地名の見出しはアイヌ語地名。解釈には、
類例の地名も紹介。五十音順の索引あり(類例の地名は除く)。

7.29/O

沙流郡のアイヌ語地名 1 扇谷昌康, 島田健一著 札幌 北海道出版企画センター 1988
308p 21cm

沙流郡管内のうち、主に門別町の地名と、厚別川筋については新冠町の地名を含めて
解釈。表記は知里真志保著『地名アイヌ語小辞典』を参考にしているが、他の文献での
表記も原文とともに載せている。門別町の各地区ごとに大別、さらに川筋ごとにまとめ、
地名の分量も多い。地名の見出しはアイヌ語地名。約 350 語を収録。五十音順の索引あ
り。

7.29/O

苫小牧市のアイヌ語地名 扇谷昌康編 苫小牧 苫小牧郷土文化研究会 1971 47p 22cm

勇払川川筋、ウトナイ湖周辺、美々川川筋、別々川から勇払川までの海岸、勇払川か
ら厚真川までの海岸と、地形ごとに大別し 107 地名について考察。五十音順の索引あり。

地名の見出しはアイヌ語地名。『郷土の研究』第3号別冊。

7.29/R

るもいのアイヌ語地名 先人の足跡を正しく理解するために 留萌市教育委員会編 留萌
留萌みなとライオンズクラブ 1984 39p 26cm

85 地名を海岸沿い、留萌川筋、現存するその他の地名の3つに大別し、解釈している。
前者2つについては、各文献での地名の表記を一覧表にまとめ、各地点を示す索引図が
ある。見出し語はアイヌ語地名。

7.29/Sa

アイヌ語地名解 北海道地名の起源 更科源蔵著 札幌 北書房 1966 360p 17cm

主に道内の鉄道路線に沿って、地名の起源を解説。駅名になっている地名は、線路名
を合わせて説明。内容は簡潔にまとめられており、収録している地名数は北海道全域に
わたる。地名の見出しは現地名。漢字で表記されているものは、下に読みをつけている。
五十音順の索引あり。『更科源蔵アイヌ関係著作集』6(みやま書房 1982 7.08/SA/6)
にも収録。

7.29/Sa

アイヌ語地名資料集成 佐々木利和編 山田秀三監修 東京 草風館 1988 543p 23cm

アイヌ語地名研究において、入手の難しい文献を集録。特に、秦檜麻呂『東蝦夷地名
考』や上原熊次郎『蝦夷地名考并里程記』など、初めて活字化されたものがある。付録
として、松浦武四郎著『東西蝦夷山川地理取調図』の白黒写真版の複製29枚を付ける。
資料解題、五十音順のアイヌ語地名索引あり。

7.29/Sa

浜頓別町周辺のアイヌ語地名解説 佐藤豊著 浜頓別町(宗谷) 佐藤豊 1977 21p
26cm

64 地名を海岸線沿い、河川及び湖沼近辺等、地域別に解釈。地名の見出しはアイヌ語
地名。目次、索引無し。巻末に地名の記載順に番号をふったアイヌ語地名略図あり。

7.29/Sa

樺太アイヌ語地名小辞典 佐々木弘太郎著 札幌 みやま書房 1969 254p 16cm

各種文献から収集した429地名を記載。知里真志保氏の文献を多く踏まえ、解説して
いる。また、アイヌ語以外のギリヤーク、オロッコ、朝鮮、満州、蒙古など他の言語と
の関係があるものについても触れている。引用した文献を略記。見出し語はアイヌ語地
名、アルファベット順。索引はアイヌ語のアルファベット順。このほか索引には、数は
少ないがギリヤーク語、日本語、支那語、蒙古語、満州語、ゴリド語もあり。

7.29/Sh

美唄アイヌ語地名考 白戸仁康著 高田文男絵 美唄 美唄市 1978 42p 26cm

エピソードを交え、32 地名をわかりやすいよみものとして解説。地名の見出しは現代地名。地名索引、人名索引あり。広報『びばい』に連載したものに加筆しまとめた。

7.29/Sh

標茶町のアイヌ地名 釧路川中流域 標茶町郷土館編 標茶町（釧路） 標茶町教育委員会 1983 100p 26cm

標茶町の地名について、専門的に研究された地名解釈の資料。各時代の文献に見られる地名の一覧表など、変遷もわかるよう細かくまとめられている。地名の分布状況から釧路川筋、塘路湖・シラルトロ沼近辺、虹別地域に分け、解釈している。索引なし。

7.29/Sh

士別地方アイヌ語地名考 尾崎功文・写真 士別 士別市郷土研究会 1999 55p 30cm

士別地方（士別市、風連町、朝日町、剣淵町、和寒町）の地名として残っていないものを含め 110 地名を説明。各基本文献での記述をそのまま記載。地名の見出しはアイヌ語地名。それに現代地名を載せている。巻末に五十音順の地名索引あり。図版・写真等多数あり。

7.29/Sh

知床半島西岸の地名と伝説 知床博物館編 斜里町（網走） 知床博物館 1984 47p 17cm （郷土学習シリーズ 第6集）

知床岬から宇登呂までの 151 地名について簡潔に説明。地名の見出しはアイヌ語。巻末に五十音順の索引あり。オールカラーで、ほぼ全ページ写真つき。

7.29/So

空知のアイヌ語地名考 空知地方史研究協議会編 芦別 空知地方史研究協議会 1998 157p 26cm

空知地方の河川、夕張川、幾春別川、美唄川、歌志内川、樺戸郡の川、空知川、雨竜川の7つに大別し、各河川流域の市町村別にまとめる。455 地名を解釈。地名の見出しは現在の地名の呼称。参考文献一覧、五十音順の索引あり。

7.29/Te

天塩川アイヌ語地名考 天塩から名寄まで 尾崎功執筆・編集 士別 尾崎功 2000 145p 30cm

アイヌ語河川名を基本に天塩から名寄までの天塩川流域の地名について解釈。地名の見出しはアイヌ語地名。『士別地方アイヌ語地名考』とあわせることで、天塩川流域の地名をほぼ網羅している。天塩から川筋ごとに 16 の区域に分けて解釈。各種文献の記述はそのまま記載。五十音順の地名索引あり。

7.29/To

東北六県アイヌ語地名辞典 西鶴定嘉著 東京 国書刊行会 1995 357,22p 22cm

東北 6 県のアイヌ語地名を各県ごと市・郡に分け解説する。市・郡の排列は五十音順

北海道の海岸を、石狩川の河口から時計回りに、内陸部へ川筋を河口から上流へとたどる順番で石狩地方・天塩地方・北見地方…渡島地方・後志地方と大まかな区分に分けて2000余項目の各地名の由来を記す。巻末に五十音とアルファベット順の総索引がある。見出し語のほか、解説中の地名が引け、アルファベット索引では語頭以外からも引くことができる。巻頭には、主な引用文献の解説あり。

『北海道の地名』初版（1984年刊 H291.034/Y）も所蔵。

7.29/Y

札幌のアイヌ地名を尋ねて 山田秀三著 札幌 楡書房 1965 176p 22cm

札南地区、都心と西郊、札北地区、東南郊と、おもに地域ごとに地名について基本文献から引用を多く使い解釈している。また、このほか「札幌」という1地名に絞り、札幌川の川筋の変遷、地名説集録と細かく記述している。巻末に参考文献として特に利用した資料の解題及び索引あり。

7.3 社会科学

7.3/I

教育のなかのアイヌ民族 その現状と教育実践 井上司編著 東京 あゆみ出版 1981 341p 21cm

教育現場の実態を明らかにし、具体的な実践プランを提示した一般書であるが、アイヌの世界に目を開かせる幼児・小学生向けの「よみもの」を学年ごとに紹介しているのので、子ども向けの本のガイドとしても使える。また、教師・父母に向けて、高校生以上・大人のための「フィクション」「ノン・フィクション」「アイヌ通史の参考文献」「アイヌに関する文献目録」を紹介・解説する。

7.31/A

アイヌ差別問題読本 シサムになるために 小笠原信之著 東京 緑風出版 1997 266p 21cm (プロブレムQ&A)

アイヌに対する差別の問題を考える上でのポイントを25の質問としてあげ、Q&A形式で解説した入門書。ほかに平成9年公布の通称「アイヌ文化振興法」、廃止された「北海道旧土人保護法」や北海道ウタリ協会の「アイヌ民族に関する法律(案)」などを収録する。

「アイヌ民族・北海道関連年表」と参考文献あり。文献は「差別」問題に関わりのあるものに的を絞ったリストで、歴史解説書・アイヌ問題全般・教育・伝記・アイヌ自身の著書、民族・差別・行政による調査資料などに分かれ、各分野のはじめには簡単なガイドがついている。

7.31/Ho

アイヌ民族に関する指導の手引き 高等学校教育指導資料 北海道教育庁生涯学習部学校

教育課編 〔札幌〕 北海道教育庁生涯学習部学校教育課 1992 105p 26cm

高等学校における指導計画など、現場教師に向けた手引書。関連用語集や歴史年表があり、図表も豊富であるので資料集としても使える。「教材作成のための文献」「より深く理解するための文献」として、それぞれ歴史・文化・基本的人権等の3つの分野ごとに文献を紹介する。また、各支庁管内市町村別の「アイヌ民族に関する資料のある主な博物館等」リストがある。

7.31/Ko

対アイヌ政策法規類集 河野本道編 札幌 北海道出版企画センター 1981 522p 22cm

開拓使時代、三県一局時代、北海道庁時代という時代による区分のほか、旭川・樺太・千島の地域による区分と、「生活館」に関するものの区分をし、アイヌに関わる法律・条例・規則などを収録する。附篇として、国際的な条約や人権問題に関する宣言なども収める。

『アイヌ史資料集』 第2巻 - 〔5〕法規・教育編〔5〕(北海道出版企画センター 1981 7.08/A/2-5)としても刊行されている。

7.31/Ta

アイヌ政策史 高倉新一郎著 新版 東京 三一書房 1972 616,8p 図 23cm

松前藩時代から「北海道旧土人保護法」制定まで、幕府・開拓使・国のアイヌ民族に対する政策の歴史についての基本図書。

巻末に「引用書目解説」があり、本文中で使用した、世上に流布していない写本・木版本といった史料について解説する。北海道庁所蔵以外については各所蔵者が記されており、排列は書名の五十音順。

日本評論社 1942年刊の加筆・修正。当館では、1943年刊2刷(7.31/Ta)を所蔵している。

7.35/Ho

北海道ウタリ実態調査報告 昭和47年 - 北海道民生部〔編〕〔札幌〕北海道民生部〔1973 - 〕

アイヌの人たちが居住する市町村による調査、抽出による世帯調査、アンケート調査等により、人口・農林漁業の状況・住居の状況などをまとめた資料。平成11年まで計5回の調査が行われている。

『北海道ウタリ生活実態調査報告』(昭和54年)『北海道ウタリ生活実態調査報告書』(昭和61年 -)と書名および編集・発行者の変遷あり。

所蔵：昭和47, 54, 61, 平成5, 11 <1973 - 2000> +

7.4 自然観

7.4/A

アイヌ民族の有用植物 全道版 薬用・食用編 北海道立衛生研究所薬理毒性部〔ほか編〕
札幌 北海道立衛生研究所 1996 29p 30cm

北海道各地・樺太のアイヌ民族が薬用及び食用として利用した植物 203 種を和名の五十音順に排列し、アイヌ語名と用途・方法について簡単な解説を付す。うち 126 種については前半にカラー写真（排列は五十音順）あり。共同編集・刊行：アイヌ民族博物館事業部，白老町総合保健福祉センター

7.4/A

アイヌ植物誌 福岡イト子著 佐藤寿子挿画 東京 草風館 1995 241p 19cm

北海道上川地方における採取の季節を春から夏、夏から秋、秋から冬と季節ごとに大きく分け、その中を樹木類・果実類など植物の利用部位による分別ごとにまとめた。和名のカタカナ表記を見出しとして、アイヌ語カタカナ表記と語句の意味を記し、利用法について解説している。見出しの数 88。

旭川叢書第 21 巻『アイヌと植物』（1993 H081.2/A/21）を大幅に加除修正したもの。

7.4/F

樺太アイヌ語植物名彙 1 白浜に於ける調査 上 福山惟吉，知里真志保編 豊原 樺太
庁博物館 1943 35p 26cm

植物のアイヌ語名に和名と学名を対照させ、俗名や方言のある場合はそれらも付す。収録数 251。見出しはアイヌ名のかな表記であるが、排列はアイヌ語のローマ字綴りによるアルファベット順。和名からアイヌ名を引く五十音順の「和アイヌ索引」がある。

『樺太庁博物館報告』第 5 巻 1 号別刷。『アイヌ語考 2 音韻・アクセント 語彙 1』（ゆまに書房 2001 7.8/A/2）にも収録。

7.4/J

地勢ニ関スル「アイヌ」并ニ日本ノ単語 神保小虎著 〔札幌〕〔神保小虎〕 1895 20p
23cm

第 1 表「『アイヌ』ノ地勢上ノ単語」では、アイヌ語（ローマ字表記）をドイツ語で説明し、同義のアイヌ語または日本語をローマ字で付した。日本語で説明されているものもある。アイヌ語の項目数 83。排列はアルファベット順。

第 2 表「日本ノ地勢上ノ単語」では、日本語をドイツ語で説明し、同義の日本語またはアイヌ語をローマ字で付す。日本語の見出し数 91。排列はローマ字表記のアルファベット順。

『東京地学協会報告』16 - 4 号（1895.5）抜刷。

7.4/Mi

北海道アイヌ語植物名詳表 宮部金吾, 神保小虎著 東京 東京地学協会 1892 40p 21cm

学名(ラテン語)・日本語名をアイヌ名(ローマ字表記)と対照し、その名称を使う地域(天塩川筋、十勝川筋、沙流川筋など)を略記号によって示す。収録数 297。植物の種類別に排列。巻末にアルファベット順のアイヌ語索引とラテン名索引を付す。

『東京地学協会報告』14-1号(1892.6)別刷りの複製。『アイヌ語考 2 音韻・アクセント 語彙 1』(ゆまに書房 2001 7.8/A/2)にも収録されている。

7.4/Sa

コタン生物記 更科源蔵著 札幌 北方出版社 1942 196p 19cm (北方叢書 第3輯)

樹木篇・雑草篇・虫類篇など、6つの種類ごとに、主に屈斜路湖畔のコタン(集落)における調査と、アイヌの古老からの話をもとにまとめた。日本語による生物名、学名とアイヌ語名を記し、それぞれについてアイヌの生活にどのようにかかわりがあるか、用途や昔話で語られることなどについて解説する。

『コタン生物記』1-3(法政大学出版局 1976-1977 7.4/Sa)は、これを新しく書き改めて3分冊にしたもので、3巻末に五十音順の総索引がある。

7.46/A

アイヌの人類学に関する文献 須田昭義著 [出版地不明] [出版者不明] [出版年不明] p35~46 26cm

アイヌの人類学に関する雑誌論文のリスト。日本語論文は著者名の五十音順、欧文によるものは著者名のアルファベット順。著者名・発表年・論題・雑誌名・巻号数・掲載ページ。

7.5 工学・技術

7.5/Ka

アイヌの民具 萱野茂著 『アイヌの民具』刊行運動委員会編 東京 すずさわ書店 1978 331, 13p 31cm

和人が移住する以前の道具から、今でも日常用いられている生活用具 309 種と、16 種の施設、それらの材料百数十種と 26 の食品を「運ぶ・担う・漕ぐ」「着る・装う」「祈る・祭る・呪(まじな)う」など、用途ごとにまとめる。名称をカタカナとローマ字で表記し、対応する日本語を添えるほか、写真または図と解説文をつける。「本書でとりあげた民具の一覧図」があり、漁獵用具、調理食具など機能によって分けた図による索引になっている。また、民具の材料一覧表、五十音順のアイヌ語索引、日本語索引、人名、地名の索引がある。

7.6 生産活動

7.6/A

アイヌ語樹木名考 川村正一編 網走 文泉堂 1995 43p 19cm

『日本樹木名方言集』(日本山林会 1916)、『大辞典』全 26 巻(平凡社 1934 - 1936)、
『旅と伝説』(三元社 1943)から、アイヌ語の記載された樹木名と、アイヌの人たちが
生活上利用した樹木名等を抜粋した。和名の通称を見出しに、アイヌ語、北海道等の方
言を対照させ、注記を付す。巻末に和名の五十音順(アイヰウエエオヲ)索引あり。

7.61/A

アイヌと植物 樹木編 アイヌ民族博物館編 白老町(胆振) アイヌ民族博物館 1993
図版 31p 20×21cm (アイヌと自然シリーズ 第3集)

アイヌ語名のカタカナ、ローマ字表記に日本語名を付し、樹木に関する古老による伝
承記録とその樹木やそれを利用してできる道具等の写真を載せてわかりやすく紹介する。
掲載する樹木は 34 種、排列は順不同。オールカラー。

7.61/A

アイヌと植物 食用編 アイヌ民族博物館編 白老町(胆振) アイヌ民族博物館 1990
図版 31p 20×21cm (アイヌと自然シリーズ 第2集)

アイヌ語名のカタカナ、ローマ字表記に、日本語名を付し、各植物の利用法(食べ方)
について、静内・平取・白老・帯広の古老の語る伝承事例を挙げ、写真で紹介する。掲
載する植物は 32 種、排列は順不同。オールカラー。

7.7 美術・工芸

7.7/Ko/2

工芸 107 アイヌ号 下 東京 日本民芸協会 1942 196p 23cm

式場隆三郎編「アイヌ書誌」(p41～191)が収められている。日本と諸外国のアイヌ文
献について、著者または民俗学・考古学などの分野、あるいは江戸時代、諸外国といっ
た分別をしておのおのについて解説する。各項目内の排列は、おおむね発行年順。『工芸』
第 107 号特輯アイヌ文化。『アイヌ史資料集』補巻〔4〕(北海道出版企画センター 1981
7.08/A/ホ-4)に復刻されている。

7.7/Ni

日本の浮世絵美術館 巻 1 北海道・東北・関東 1 永田生慈編 東京 角川書店 1996
163p 31cm

各美術館・博物館ごとに編集しているため、アイヌ絵についての所在目録としても使
える。北海道については、北海道立近代美術館、北海道開拓記念館、アイヌ民族博物館、
市立函館博物館、市立函館図書館が収録対象となっている。巻末に、浮世絵を所蔵する
施設の一覧がある。

7.76/Ho/3

アイヌ古式舞踊調査報告書 3 (平成4年度) 三石・弟子屈・札幌・常呂〔札幌〕北海道教育委員会 1993 130p 21×30cm

白糖・新冠・鶴川(1)、門別・様似・千歳(2)、札幌・三石・弟子屈・常呂(3)を対象地区としてアイヌ古式舞踊を調査し、写真・譜面とともに解説した3分冊の報告書の3で、巻末に視聴覚資料の目録を収めている。

「アイヌ舞踊の映像目録」は、36点の映像資料のタイトル・記録形態・地方名・所蔵機関等を記した「フィルム目録」をもとに、「種目別目録」「年代別目録」からなる。

「アイヌ歌謡の録音資料目録」は、聴取・閲覧可能なものおよび出版・刊行された主なもの30点をあげる。掲載項目は記録年代(出版・制作年)、記録の担当制作発行元など、タイトル、録音・制作形式、録音内容・地域とその資料の所在。また、その中の歌謡を中心として、公共施設において聴取可能または市販されている音源を地域別に分類した「各資料掲載地域別表」がある。

7.76/Ni

アイヌ伝統音楽収集整備計画 札幌中央放送局編 札幌 札幌中央放送局 1961 65p 25cm

『アイヌ伝統音楽』(日本放送出版協会1965)の出版に向けた各種伝統音楽の収録・諸資料・原稿などの収集計画書であるが、この時点で既に収集・保存を完了している歌謡について目録としてまとめている。「アイヌ歌謡目録(1)」はNHK札幌中央放送局保存分で、樺太アイヌ歌謡、知里真志保監修のアイヌ歌謡集(第1集・第2集)などの区分ごとに、題名・演奏者・収録年月日・レコード番号などを記す。「アイヌ歌謡目録(2)」は増田又喜氏収集・保存分で、虻田・幌別・白老などの地域ごとに、歌謡の種類・録音年月日・演奏者氏名などを記す。

7.8 言語

7.8/A

アイヌ雅語辞典(ユーカラ語) 飯野正典編〔製作地不明〕〔製作者不明〕1990 600p 26cm

『言語学大辞典』巻1(三省堂1998)、『アイヌ叙事詩ユーカラ集』1-8(三省堂1966-1973)の2つの文献の中から、雅語またはユーカラに使われる単語や句を取り出したもの。编者により品詞の区別を付け、文献における所在ページ等を付した。アイヌ語のローマ字表記によるアルファベット順排列。手稿の複製。

『アイヌ語地名の研究』1-4巻(山田秀三著 草風館1982-1983)からの単語を集め、アルファベット順に排列した補遺がついている。

7.8/A

〔アイヌ語辞典〕 祐庄吉写〔製作地不明〕〔祐庄吉〕〔1933〕5冊 22cm

大学ノートにペン書き。表紙に「AINU-JAPANESE Dictionary」とあり、John Batchelor

著 “An Ainu-English-Japanese dictionary” から、アイヌ語と、対照する日本語部分を抜き出して写したものである。

見出しはアイヌ語のカタカナ表記であるが、排列はローマ字綴りのアルファベット順。

7.8/A

アイヌ語の魚名考 川村正一編 網走 川村正一 2001 13p 18cm

魚の名前を「アイヌ語 和語」、「和語 アイヌ語」とそれぞれ五十音順に排列している。和語編には和語での通称名および魚種科目も記載。魚種 56 種でアイヌ語名 311 項目、和語名 102 項目を収録。

7.8/A

アイヌ語入門 戸部実之著 東京 泰流社 1989 105p 22cm

第 1 部ではアイヌ語の基本文法、第 2 部では語彙集としてローマ字表記のアイヌ語 1768 語をアルファベット順に排列し、それに対応する日本語・英語を記載している。

7.8/A

アイヌ語沙流方言辞典 田村すず子著 東京 草風館 1996 876,34p 22cm

著者が沙流川筋の下流および中流地域のアイヌ母語話者から録音した音声資料または聞き書きしたものをもとに語彙を集めた。日常語と、昔話や神謡、ユーカラなどで使われる特別の語彙のほか、地名・人名など固有名詞も収める。見出し語は 9,400 項目。ローマ字表記のアルファベット順排列。

英訳を併記し、詳しい発音表記をつけ、豊富な用例がある。また、語・用例・解釈の原資料の所在を明示し、既刊テープに収録されているものに表示がある。

7.8/A

アイヌ語静内方言文脈つき語彙集 奥田統己編 江別 札幌学院大学 1999 179p 30cm
付属資料：CD-ROM (1 枚)

冊子本体は、語彙集のみ。見出し語はアイヌ語のローマ字表記でアルファベット順に排列。見出し数 4,200。カタカナ表記と品詞、語構成と意味を記す。

付属 CD-ROM には、語彙集本文のほか、文脈付き索引と、この語彙集の編集のもととなったアイヌ語口頭文芸録音から文字化したテキスト 34 篇が収められている。索引をもとに、『静内地方の伝承 織田ステノの口承文芸』全 5 巻 (静内町教育委員会 1991 - 1995 7.92/Sh/1-5) を参照することができる。

7.8/A

アイヌ語集 アイヌ語小辞典 湯本七十郎, 赤木三兵著 豊浦町 (胆振) 山音文学会
1963 80p 17cm

天地自然篇、人間社会篇など 10 の項目に分けて、日本語とそれに対応するアイヌ語を併記している。索引なし。

7.8/A

アイヌ語集 アイヌ語小辞典 豊浦町(胆振) 山音文学会 [出版年不明] 118p 19cm
日本語を五十音順に排列し、それに対応するアイヌ語をカタカナ・ローマ字表記で
2,300語収録。1963年刊の改訂版。

7.8/A

アイヌ祖語とインド・ヨーロッパ祖語 共通語根を探る 鳴海日出志著 増訂版 札幌
北海道出版企画センター 2000 392p 21cm

初版のアイヌ語根及び合成語約1,100語のうち印欧祖語と照応関係の著しいものを採用。更にA.Vovin氏が挙げたアイヌ祖語700語を加え、アイヌ祖語と印欧祖語の語根を対比、対訳する。アイヌ語のアルファベット順排列。巻末には五十音順の日本語索引とアルファベット順の英語索引あり。1999年刊『アイヌ語とインド・ヨーロッパ祖語』の増訂版。

7.8/A

旭川採集アイヌ語動詞集 旭川市博物館編 [旭川] 旭川市 2000 14,208p 22cm

3名のアイヌ女性から採録したアイヌ語の動詞集。ローマ字表記のアイヌ語をアルファベット順に排列し、その語源とカタカナでの表記、意味、文例、活用等を記載している。平成7年から『旭川市博物館研究報告』に発表してきたものの増補版。

7.8/A

蝦夷にし記 相沢斧五郎著 [出版地不明] 半仏(写) 1912 1冊 13×17cm

大まかな分類のもと、日本語とそれに対応するアイヌ語をカタカナで記述している。索引なし。耕秀庵半仏による写本。

7.8/A

ギリヤーク語集 網走にいる北方民族 赤木三兵編 豊浦町(胆振) 山音文学会 1975
88p 13×18cm

終戦時に旧樺太の上敷香から網走に移り住んだ北方民族ギリヤーク人(オロッコ人含む)の言葉を解説した小辞典。日本語を五十音順で排列し、対応するギリヤーク語をカタカナで表記し、詳解を併記している。

7.8/B

An Ainu vocabulary / by J.Batchelor. - Yokohama : Lane Crawford, 1882. p.220-251.
23cm

“Transactions of the Asiatic society of Japan”中に収録されている、ジョン・バチェラー氏の手によるアイヌ語 - 英語の小辞典。ローマ字表記のアイヌ語に英文で意味を記す。

7.8/B

蝦和英三対辞書 ジョン、パチェラ著 [札幌] 北海道庁 1889 80,287p 24cm

ローマ字表記のアイヌ語をアルファベット順に排列し、英語・日本語で意味を記載した辞書。introduction の中でアイヌ語の文法も解説している。

国書刊行会 1975 年刊の復刻版があり、当館でも所蔵している(7.8/B)。これには巻末に解説(惣郷正明著)があり、1889 年のものから 1938 年の第 4 版までのパチェラーによるアイヌ語辞典の内容の変遷などが記されている。

7.8/B

アイヌ英和辞典及アイヌ語文典 ジョン、パチラー著 [第 2 版] 東京 教文館 1905 11,525,159p 23cm

ローマ字表記のアイヌ語を見出し語に、発音をカタカナで表わし、日本語と英語で意味を記載した辞典。後半部のアイヌ語文典は文法を英文で解説したもの。英語書名: An Ainu-English-Japanese dictionary

7.8/B

アイヌ。英。和辞典 ジョン・パチラー著 第 3 版 東京 教文館 1926 138,556,98p 23cm

第 1 部に英文によるアイヌ語文法の解説があり、第 2 部がアイヌ語 - 日本語 - 英語の辞典になっている。ローマ字表記のアイヌ語を見出し語に、発音をカタカナで表わし、日本語と英語で意味を記載した辞典。第 3 部に英文の英語 - アイヌ語辞書がある。英語書名: An Ainu-English-Japanese dictionary

7.8/B

アイヌ・英・和辞典 ジョン・パチラー著 第 4 版 東京 岩波書店 1938 1冊 23cm

前版の改訂版。巻頭、アイヌについての概説のあと、熊祭りの記述が加えられている。英語書名: An Ainu-English-Japanese dictionary

7.8/B

Appendix to the third edition of Dr.Batchelor's Ainu dictionary / by John Batchelor. - [Sapporo]: [Batchelor], 1932. 53p. ; 18cm

『アイヌ。英。和辞典』(ジョン、パチラー著 3 版 1926)の補遺。3 版以降採集した 900 語を収録。ローマ字表記のアイヌ語に英文で意味を記述。

7.8/C

アイヌ語地形語彙 知里真志保著 札幌 北海道郷土研究会 1951 43p 21cm (郷土研究叢書 第 1 輯)

地理・地形に関するアイヌ語をローマ字表記でアルファベット順に排列し、カナヨミとその意味を収録。言葉の採集地も記載している。

7.8/C

アイヌ語絵入り辞典 知里高央, 横山孝雄著 東京 蝸牛社 1994 174p 20cm

五十音順の排列で、前半は「アイヌ語対訳日本語」でアイヌ語とその意味を、後半は「日本語対訳アイヌ語」で日本語とそれに対応するアイヌ語を記述。アイヌ語はカタカナとローマ字を併記。

7.8/C

アイヌ語イラスト辞典 知里高央, 横山孝雄著 東京 蝸牛社 1987 256p 19cm

アイヌ語群中、北海道全般に共通する言葉と道北・道南あるいは道東と使い分けられている言葉から、およそ 2,500 語を選び、700 点の漫画イラストと 100 点の写真を配している。主題ごとに掲載。アイヌ語は道南胆振出身の知里高央著『アイヌ語彙記録』に基づく。巻末の「アイヌ語字引き絵引き」はカタカナ・ローマ字併記のアイヌ語を五十音順に排列して意味を記述。

7.8/C

アイヌ語獣名集 知里真志保著 [札幌] 北海道大学文学部 [出版年不明] 28p 27cm

著者自身の臨地採集によるイヌ・クマなど動物 31 種のアイヌ語名を解説。語形・語義・語源に触れ、アイヌ語の採集地も記載している。アイヌ語はローマ字表記。『北大文学部紀要』の抜刷。『知里真志保著作集』3 (平凡社 1973 7.08/C/3) にも収録。

7.8/C

アイヌ語会話イラスト辞典 知里むつみ, 横山孝雄著 東京 蝸牛社 1988 210p 19cm

初歩の日常会話を日本語・アイヌ語併記で記載。アイヌ語に関するコラムあり。著者の出生地・胆振の登別と日高の沙流のアイヌ語が中心。巻末の「日本語 アイヌ語字引き絵びき」は五十音順に排列。アイヌ語はカタカナとローマ字を併記。

7.8/C

アイヌ語入門 とくに地名研究者のために 知里真志保著 東京 楡書房 1956 276p 18cm (にれ双書 1)

アイヌ語を学んで文化を理解してもらうための入門書。特に第 1 部では『北海道蝦夷語地名解』(永田方正著)に対する批判、第 3 部ではバチェラー博士の辞書への批判とアイヌ語を学ぶ人のための参考書の紹介・解説が参考になる。復刻版(北海道出版企画センター 1985)も所蔵。

7.8/C

分類アイヌ語辞典 第 1 - 3 巻 知里真志保著 東京 日本常民文化研究所 1953 - 1962 3 冊 21cm

分類ごとに排列し、日本語の見出しと、それに対応するアイヌ語をローマ字とカタカ

ナで表記。語形・アクセント・語義・語源などのほか、附随する民族の感情・信仰・土俗などについても詳述。著者の臨地採集によるものには地名を、それ以外は出典を明示。第1巻は植物篇で、アイヌ語・学名・和名・事項の各索引あり。第2巻は動物篇(遺稿)で、学名・アイヌ語・日本語の各索引あり。第3巻は人間篇で、アイヌ語・日本語の各索引あり。『知里真志保著作集』別巻1,2(平凡社 1975-1976 7.08/C/ハッ1,2)にも収録。

7.8/E

蝦夷語引原稿 [出版地不明] [出版者不明] [出版年不明] 1冊 30cm

カタカナ表記のアイヌ語をイロハ順に排列し、その意味を記載している。附録としてアイヌ語での数なども収録。北海学園北鷹文庫本の写本の複製。

7.8/G

月刊言語 Vol.14No.2 東京 大修館書店 1985 128p 21cm

特集「アイヌの言葉と文化 言語編」の中に、江戸時代に書かれたアイヌ語に関する資料のリスト(p74)や「アイヌ語文献目録」(p84~90)あり。文献目録は、アイヌ語を学ぶ上で利用価値が高いもの、研究史上重要なものを中心とし、基本参考文献には印がついている。一部注記あり。

7.8/Ha

アイヌ語方言辞典 服部四郎編 東京 岩波書店 1964 556p 27cm

樺太・千島と北海道計10地域のアイヌ語方言をまとめた辞典。日本語見出しに英語訳を付し、その下に10地域のアイヌ語一覧。ローマ字表記のみでカナヨミは無い。言葉の意味によって分類排列。巻末には、アルファベット順のアイヌ語索引と英語索引、五十音順の日本語索引あり。

7.8/Hi

十勝のアイヌ語資料 「北海道通語」について 平田恵, 成田修一著 帯広 帯広百年記念館 1989 p7~28 26cm

北大附属図書館が所蔵している『北海道通語』(三橋延採集 製作年不明)の研究を報告したもの。アイヌ語312語と対応する日本語325語を分類ごとに収録した原本の影印版と解説文、巻末には索引編としてカタカナ表記のアイヌ語を五十音順に排列し、意味とその記載頁を記している。『帯広百年記念館紀要』第7号別刷。

7.8/Ho

沢井トメノ十勝本別アイヌ語分類辞典 人間篇・動物篇・植物篇・民具篇 本別町教育委員会編 本別町(十勝) 本別町教育委員会 1989 155p 18cm

項目を大きく4つに分け、日本語とそれに対応するアイヌ語をローマ字とカタカナで表記。語訳だけでなく、まつわる伝説や、動植物であれば捕獲方法や食べ方、民具は用

途なども記載。図版も多い。巻末には五十音順の日本語索引とアイヌ語索引あり。

7.8/Ho

袖珍北海道土人語案内 全 北海散史編 函館 小島大盛堂 1910 132p 15cm

カタカナ表記のアイヌ語を五十音順に排列し、その意味を併記している。巻末に地名の由来を簡単に解説した「北海道地名略解」あり。『アイヌ語資料叢書』5(国書刊行会 1972 7.8/A/5)『アイヌ史資料集』補巻〔1〕(北海道出版企画センター 1981 7.08/A/ホ-1)にも収録。

7.8/Ho

浦河地方のアイヌ語 北海道ウタリ協会浦河支部編 浦河町(日高) 北海道ウタリ協会
浦河支部 1983 43p 19cm

日常生活や天候など 8 つの項目に分類して、カタカナ表記のアイヌ語とその意味を書いている。各項目内はほぼ五十音順に排列。

7.8/Ho

浦河地方のアイヌ語 続 北海道ウタリ協会浦河支部編 浦河町(日高) 北海道教育庁
日高教育局〔1985〕 23p 26cm

日常生活や天候など 8 つの項目に分類して、カタカナ表記のアイヌ語とその意味を書いている。各項目内はほぼ五十音順に排列。昭和 58 年刊の補完版。

7.8/I

和愛愛和アイヌ語辞典 磯部精一著 東京 東京実業社 1936 102,116,52p 19cm

日本語を五十音順に排列してカタカナ・ローマ字表記のアイヌ語を併記した「和愛の部」と、カタカナ・ローマ字表記のアイヌ語を五十音順に排列してその意味を併記した「愛和の部」の 2 部構成。附録にアイヌ語の文法と雑録あり。『アイヌ史資料集』補巻〔3〕(北海道出版企画センター 1981 7.08/A/ホ-3)にも収録。

7.8/J

アイヌ語会話字典 神保小虎, 金沢庄三郎著 札幌 北海道出版企画センター 1973 278p
14cm

金港堂書籍明治31年刊の復刻版。日常会話に使われる日本語を五十音順に排列し、それに対応するアイヌ語をローマ字で表記する。単語のほか会話文例も併記。巻頭に「天候」「起居」「旅行」など、会話の場面を想定した簡単な主題索引がある。1978年刊の新版も所蔵。

7.8/Ka

蝦夷西場所アイヌ語事典 ヨイチ御場所阿異野事葉 川端義平編 余市町(後志) 余市町教育委員会 1975 79p 26cm

慶応2年に作成された『イロ八番付阿異野事葉』に注を加えて編集したもの。カタカナで表記したアイヌ語をイロ八順に排列し、その意味を記載している。日常語675語とアイヌ語による祈りやチャランケの文章を6章収録。余市を支配していた運上家・林家あたりの通辞が作成し、座右の書としていたものらしい。

7.8/Ka

萱野茂のアイヌ語辞典 萱野茂著 東京 三省堂 1996 597p 22cm

アイヌ民族によるアイヌ語辞典。語学的なものではなく、生活の中で実際に使われた生きたアイヌ語を中心としている。アイヌ語の五十音順排列で見出し語は約8,000語。巻末には、アイヌのなぞなぞ、アイヌのことわざなども収録する。約11,000語の日本語の訳語索引がある。600項目を追加した増補版(2002年10月刊)も所蔵。

7.8/Ki

アイヌ語彙記録 遺稿 知里高央著〔出版地不明〕 故知里高央遺稿整理保存会 1967 893p 26cm

弟知里真志保博士の遺志を継ぎ、アイヌ語の記録に本格的に取り組んだ知里高央氏が手がけたものの、志半ばで遺稿になってしまったアイヌ語の語彙集。本書は、遺された手書き資料をオフセット印刷によりそのまま印刷製本したものである。排列は、ほぼ見出しとなっているアイヌ語のアルファベット順。また、これとは別に準備段階と思われる4,000枚近くの膨大なカードがあり、こちらについては、高央氏独自の考えが盛り込まれているカードのみを巻末に加えてある。利用者の便宜のため、複写担当者による内容目次がある。

7.8/Ku

アイヌ語・日本語辞典稿 久保寺逸彦アイヌ語収録ノート調査報告書 久保寺逸彦,北海道教育庁生涯学習部文化課編 札幌 北海道教育委員会 1992 511p 30cm

自家用に作成された1,000頁を越すノートに書き付けられた「アイヌ - 日本語辞典」を活字化したもの。原本を生かした活字化が配慮されている。口誦文芸中に現われる語彙が中心となっており、項目数は約9,600、索引は約17,000。排列は、アイヌ語のアルファベット順(カード見出しごと)。巻末には久保寺逸彦博士の年譜(p509~511)がある。

7.8/Ma

ウイльта語辞典 澗瀧久治,北海道教育庁社会教育部文化課編 網走 網走市北方民俗文化保存協会 1981 231p 27cm

昭和3年の樺太には約400人のウイльтаが住んでいた。ウイльтаは対岸の大陸から渡来

し、古くからオロッコと呼ばれた。本書は戦前の現地調査を元に、戦後は関係者からの資料収集と道内居住者への聞き取り調査による推敲を重ねたウイльта語（オロッコ語）の辞典である。排列はウイльта語のアルファベット順。用例を多数掲載している。巻末には40点の民俗資料の図録がある。

7.8/Mi

北海道通語 三橋延採集〔出版地不明〕〔出版者不明〕〔出版年不明〕 1冊 13×13cm
雑事・人事・身体・飲食・物名・動植物・数・〔雑事〕の各分類毎に見出し312語とその日本語訳を掲載する。稿本の複写資料（原本は北海道大学附属図書館所蔵）。活字化資料及び本資料の解説書は『十勝のアイヌ語資料』を参照。

7.8/Mu

カラフトアイヌ語 村崎恭子著 東京 国書刊行会 1976 15,10,234p 22cm
アイヌ語の2大方言である「北海道方言」のもう1つの方言が「カラフト方言」である。本書は、戦後北海道に引き揚げることになった道内移住者から一人の女性を対象を絞りこみ、失われつつあった方言の採集を試みた研究報告書である。前半は聞き書き、後半は和英訳による辞書の部（アイヌ語のアルファベット順排列）。カセットテープ2巻が付く。後述の「文法篇」に対して資料篇にあたる内容になっている。

7.8/Mu

カラフトアイヌ語 文法篇 村崎恭子著 東京 国書刊行会 1979 177p 22cm
前出の『カラフトアイヌ語』の続編にあたる文法解説書。巻末に日本語索引、英語索引、アイヌ語索引を付す。参考文献（p23）あり。

7.8/Mu

北千島アイヌ語 文献学的研究 村山七郎著 東京 吉川弘文館 1971 353p 22cm
失われたアイヌ語の方言の1つである北千島方言については、18-19世紀に外国の研究者によって発表されたいくつかの論文がある。本書は、雑誌に掲載されたこれらの論文
巻 ちZr黠いく 揚抉り イ* .

7.8/Na

ウタリ語集 南方諸言語研究所編 東京 南方諸言語研究所 1982 268p 19cm

約5,000語を収録する。排列は、日本語の五十音順。一部単語の用例も列記されている。アイヌ語はローマ字表記。

7.8/Na/1

近世の蝦夷語彙 近世に於ける蝦夷語彙集類の編纂 [1] 《もしほ草》篇 成田修一編 久喜 成田修一 1977 77p 26cm

19世紀初頭にまとめられた日本語-蝦夷語の語彙集『もしほ草』から、蝦夷語(アイヌ語)を見出し語に五十音順に編集したもの。索引を兼ねる。国立国会図書館にある旧亀田文庫本を底本とし、本文は蝦夷語とそれに対照する日本語、そして底本の掲載丁数が記されている。巻頭に「もしほ草」の研究・引用文献あり。謄写印刷。

7.8/Na/2

近世の蝦夷語彙 近世に於ける蝦夷語彙集類の編纂 [2] 《松前の言》篇 成田修一編 久喜 成田修一 1977 8p 26cm

金田一京助氏に「世界最古の蝦夷語彙」と題して紹介された『松前の言 系そことはの事』の蝦夷語を見出し語に五十音順に編集しなおしたもの。索引を兼ねる。天理図書館にある佐々木信綱博士の蔵本を金田一氏が筆写したものを底本とする。本文は蝦夷語とそれに対照する日本語、そして掲載丁数が記されている。収録語彙数は117語。

7.8/Na/3

近世の蝦夷語彙 近世に於ける蝦夷語彙集類の編纂 3 《蝦夷語集録》篇 成田修一編 久喜 成田修一 1985 115p 26cm

文久4年甲子春(1864)に作られた日本語-蝦夷語語彙集である『蝦夷語集録』について、蝦夷語を見出し語に五十音順に編集しなおしたもの。東京大学の写本(現在、所在不明)を金田一京助氏夫人の静江氏が筆写したものの復刻版(昭和47年刊)を底本とする。後年に発見された金田一京助氏による写本も使用し、底本と異なる部分を引用し補っている。本文は蝦夷語とそれに対照する日本語、そして掲載頁数が記されている。

7.8/Na/4

近世の蝦夷語彙 近世に於ける蝦夷語彙集類の編纂 4 《蝦夷語》篇 成田修一編 久喜 成田修一 1986 1冊 26cm

嘉永3年(1850)に松浦武四郎がまとめた日本語-蝦夷語の語彙集が『蝦夷語』である。本書は、蝦夷語を見出し語に五十音順に編集しなおした語彙集篇と『蝦夷語』全文の書き起こしを行った本文篇の二部からなる。底本は、国文学研究資料館史料館に寄託されている松浦家文書の稿本とし、語彙集篇は蝦夷語とそれに対照する日本語、そして底本の掲載丁数が記されている。収録する蝦夷語は1,972語。

7.8/Na/5

近世の蝦夷語彙 近世に於ける蝦夷語彙集類の編纂 5 《南北蝦夷地魯西亜国話通言》篇
成田修一編 久喜 成田修一 1988 36,24p 26cm

『南北蝦夷地露西亜国話通言』は、嘉永7年(1854)に依田治郎がまとめた書で、二部構成からなる。前半には蝦夷語を収めた「蝦夷通詞鑑」、後半には『環海異聞』からの書き写し「魯西亜人言語」を収めている。本書は北海道立図書館所蔵本を底本に、前半の「蝦夷通詞鑑」を編集しなおしたもので、底本を書き写した本文篇と蝦夷語を見出し語とする五十音順の索引篇の二部からなる。本文は人倫門、支体死話、世事、器財、鳥獸魚虫類、草ノ類、十二支、〔その他〕に分類する。語彙数は、蝦夷語838語、日本語650語。

7.8/Na/6

近世の蝦夷語彙 近世に於ける蝦夷語彙集類の編纂 6 《後方羊蹄於路志》篇 成田修一
編 久喜 成田修一 1991 39,40,2p 26cm

1枚の版木に、天・地・宮室・人物など28の語彙をタテ軸、それに関連する1,000語余りの日本語とそのアイヌ語の対訳を一覧表にまとめたものが松浦武四郎の『後方羊蹄於路志』。本書は、この対照表を語彙ごとの日本語見出しを本文に、アイヌ語見出しを索引篇にして再編集した辞書である。日本語見出し語数は1,018語。アイヌ語訳の語数は約1,048語。一覧表を書き写したもの(1枚)を巻末に付録する。

7.8/Ni

日本祖語とアイヌ祖語 共通語根を探る 鳴海日出志著 札幌 北海道出版企画センター
2000 538p 19cm

アイヌ語と日本語の共通性については各種の異説がある。本書では、古代日本語の素になった日本祖語とアイヌ語、アイヌ祖語を比較してその共通性を解き明かす試みがなされている。排列は日本祖語のアルファベット順。巻末付録には「北海道地名に見る古代日本語(和語)・アイヌ語照応の例」があり、道内32の地名の祖語による解析が行われている。アルファベット順のアイヌ語索引と古代日本語の英訳索引がある。p493~503に参考文献リストあり。

7.8/O

オロッコ文典 中目覚編 東京 三省堂 1917 166p 23cm

旧樺太の日本領に居住していた約300人のオロッコ人が使っていたオロッコ語の文法解説書。第3編には「オロッコ語集」として約1,000語を収録する。排列はオロッコ語のアルファベット順。日本語の対照語が付される。巻末には同じツングース族の言語「奇鄰語集」「山丹語集」も付録する。排列は各語のアルファベット順。

7.8/U

アイヌ語集 北海道観光のガイドブック 宇川文昌著 豊浦町(胆振) 山音文学会
〔1974?〕 110p 18cm

日常語のアイヌ語対訳集。排列は、日本語の五十音順。巻末には、数詞、曆象用語集と共に、57のアイヌ語地名の簡単な由来が掲載されている「アイヌ語地名解」を付録する。

7.8/U

ウイльта語辞典 池上二良編 札幌 北海道大学図書刊行会 1997 292p 22cm

旧樺太に居住していたオロッコ人は自らをウイльтаと呼んだ。本書は、戦後北海道に移住することになった南方言を話すウイльтаの人びとから、聞き取り調査により採集したものをまとめたウイльта語(オロッコ語)の辞典である。見出し語はウイльта語のアルファベット順に品詞、発音、訳語、用例が付される。語数は約4,500語。巻末には「ウイльта語分類語彙」「基礎単語日本語索引」「樺太南部ウイльта居住地方略図」がある。参考文献あり。

7.8/U

和愛辞典 上原有次原著 金田一京助改修 〔出版地不明〕〔出版者不明〕〔出版年不明〕
218p 26cm

『もしほ草』と共に最も古いアイヌ語の語彙集の1つ。7巻4冊からなる旧内閣文庫所蔵の「蝦夷語集」(上原有次原著)を金田一氏が謄写したもの。国書総目録では「蝦夷語集」は写本となっているが、氏は稿本と考えた。見出しは振り仮名付きの日本語で対照するアイヌ語はカタカナで表記される。排列は、天地、時候、動物等12の主題ごとに分類され、それぞれ日本語の五十音順に6,362語を収録する。索引はない。

7.8/Y

アイヌ語小辞典 山本多助著 〔札幌〕ヤイユウカラ・アイヌ民族学会 1976 99p 19cm

アイヌの長老である著者は、アイヌ語の言葉一つ一つに含まれる性や生活の営み、自然との関わりの重要性を強調する。本書では、五万数千語にも及ぶアイヌ語の記録から生活に関わりの深い約2,000語を「大自然の呼称」「恋愛・結婚の部」「アイヌ語の数詞」などの種類ごとにまとめて収録する。

7.8/Y

北海道あいぬ方言語彙集成 吉田巖著 東京 小学館 1989 278p 20cm

本書はアイヌの人々に溶け込み、アイヌ語を実際に習得した著者が著したアイヌ語語彙辞典の集大成である。研究の特色は、方言の採集地及び発音を明確にすることで語彙の齟齬を廃した点である。十勝、釧路、日高のアイヌ語に大別し、更に天文篇、地文篇、人文篇、言語にそれぞれ分けている。排列は、かな表記によるアイヌ語見出しの五十音

順。日本語訳と共に採録地域の略記号が付記される。収録語は約6,000語。巻末には総索引、著者に関する解説、年譜がある。

7.8/Y

シサム・アイヌ・イタク・ウプシ・カンピ 和・アイヌ語辞典 山路広明編 東京 アジヤ・アフリカ言語研究室 1959 203p 18cm

バチエラー博士の“An Ainu-Japanese-English dictionary”(1938)、“A grammar of the Ainu language”(1887)を底本に他の参考文献と共に平易にまとめてある。見出しは日本語でカタカナによるアイヌ語の対照語が紹介されている。語の解説、索引はない。背の書名：アイヌ語辞典

7.9 文学

7.92/Y

北方自然民族民話集成 オロッコ・ギリヤーク・ヤクート・樺太アイヌ 山本祐弘著 東京 相模書房 1968 286p 22cm

戦前の南樺太で採集したオロッコ、ギリヤーク、ヤクート、樺太アイヌの民話を採集、翻訳したもの。オロッコ19話、ギリヤーク42話、ヤクート4話。樺太アイヌ8話を収録する。巻末「北方民族関係文献表」(p277~286)は、各民族について、洋書や雑誌記事も含めた文献リスト。

雑誌記事

雑誌記事/Z/図書館学

国立国会図書館所蔵アイヌ関係資料目録 その(1) 和図書目録 明治から戦前(昭20年)まで 柳下み咲著〔国立国会図書館編〕

『アジア資料通報』30巻6号(1992.9) 東京 国立国会図書館 p2~15

「アイヌ文化・生活編(調査報告書,概説書を含む)」「言語・文学編(北海道地名解を含む)」「辞書編」「医療・衛生編」「統計編」「行政編」の6つの主題ごとに各文献を編年順に掲載する。また、複製版、他の図書への再録版がある場合には付記されており便利である。なお、アイヌが主題ではない図書(統計書、法令集を除く)部分収録するもの、新聞・雑誌類は除外してある。(シリーズの「その(2)」を参照)

雑誌記事/Z/図書館学

国立国会図書館所蔵アイヌ関係資料目録 その(2) 和図書(部分/論文)目録 - 明治期刊行 柳下み咲著〔国立国会図書館編〕

『アジア資料通報』31巻7号(1993.7) 東京 国立国会図書館 p2~10

その(1)に収録されなかった市町村史や論文集などのようなアイヌに関係する箇所を持つ図書の目録。「アイヌ文化・生活編」「言語・文化編」「行政編 - 議会資料(帝国議会期)北海道旧土人保護法、旭川旧土人保護地処分法関係議事録」の3つの主題ごとに各文

献を編年順に掲載する。「行政編」については表形式で、議事録・速記録の記載頁が掲載されており、膨大な資料からアイヌ関係の必要箇所を探し出すのに有用である。複製版、他の図書への再録版がある場合には付記される。

雑誌記事/Z/図書館学

国立国会図書館所蔵アイヌ関係資料目録 その(3) 和図書 - 戦後編〔国立国会図書館編〕
『アジア資料通報』33巻5号(1995.10) 東京 国立国会図書館 p1~23

昭和20(1945)年以降に刊行され平成7(1995)年9月末までに整理された約520タイトルを収録する。〈政治・法律・行政〉〈経済・社会・教育〉〈歴史・地誌〉〈芸術〉〈言語〉〈文学〉〈自然科学〉の7つの主題ごとに国立国会図書館の請求記号順に排列してある。

雑誌記事/Z/図書館学

国立国会図書館所蔵アイヌ関係資料目録 その(4) 大原裕子著〔国立国会図書館編〕
『アジア資料通報』34巻3号(1996.6) 東京 国立国会図書館 p1~9

アイヌを主題とするものの他に部分的に論じ垂れている論文等を含め、洋書約120タイトルを収録する。「アイヌ文化・生活編」等7つの主題ごとに著者書名のアルファベット順に排列する。

北方雑誌記事/Z/Sa

アイヌ文学文献考 文学に描かれたアイヌ民族 早川勝美著

『山音』第47号(1967.3) 豊浦町(胆振) 山音文学会 p54~66,100,117

アイヌを題材に書かれた文学作品について、明治、大正、昭和の各年代ごとにまとめ発表年順で紹介している。索引等はない。

第50号(1968.4)に、「アイヌ文学文献考補遺」掲載(p38~39)。明治・大正・昭和の年代ごとに作品を紹介するほか、後半に道内の同人誌に発表されたものをまとめた。

北方雑誌記事/Z/O

十勝毎日新聞(1920-1939)掲載アイヌ関係記事 目録と紹介 小川正人,山田伸一編

『帯広百年記念館紀要』第19号(2001.3),第20号(2002.3) 帯広 帯広百年記念館

アイヌ関係の新聞記事の見出しをまとめた目録。編年順で排列し、表形式となっている。記述は、日付・掲載面・執筆者・見出し・記事の分量・備考となっている。収録期間は1920年から1939年の25年間。約1,100件を収録する。また、主要記事約110件も掲載してある。

北方雑誌記事/Z/Ho

『アイヌ神謡集』辞典 切替英雄〔著〕

『北大言語学研究報告』第2号 札幌 北海道大学文学部言語学研究室 1989 393p

知里幸恵の『アイヌ神謡集』に見られるアイヌ語の単語及び単語構成要素を網羅的に

分析した研究書。第3章に当たるC〔章〕が辞典の部。(p161～369) アイヌ神謡集の本文、脚注に現れるすべてのアイヌ語の単語、助詞、単語構成要素を見出し語としてアルファベット順に排列する。内容は、品詞・日本語訳・用例、また必要に応じて関連語句や文法解説も記してある。さらに、語句の出典箇所の作品番号と行番号を記載してある。巻末(p[371]～384)に『アイヌ神謡集』関連書誌あり。

北海道立図書館
北方資料参考図書解説目録 4
《アイヌ資料》

索引

見出しとして収録した書名と、解説の中でゴシック体で紹介した書名を五十音順に排列し、その所在をページ番号で示した。洋書（アルファベット順）は末尾に付けた。

あ

アイヌ	9
アイヌ、いまに生きる	20
アイヌ。英。和辞典	38
アイヌ・英・和辞典	38
アイヌ英和辞典及アイヌ語文典	38

(あいぬ - か)

アイヌ 学の誕生	6
アイヌ雅語辞典（ユーカラ語）	35
アイヌ関係史料	6
アイヌ関係資料図録	10
アイヌ教育関係文献目録（増補改訂版）	14
アイヌ教育関係文献目録（増補版）	13
アイヌ群像	18
アイヌ研究	14
アイヌ研究史	11

(あいぬ - こ)

アイヌ語彙記録	42
アイヌ語イラスト辞典	39
アイヌ語絵入り辞典.....	39
アイヌ語解説	21
アイヌ語会話イラスト辞典	39
アイヌ語会話字典	41
アイヌ語考 2 音韻・アクセント 語彙 1	32,33
アイヌ語沙流方言辞典	36
アイヌ古式舞踊調査報告書	35
アイヌ語静内方言文脈つき語彙集	36

〔アイヌ語辞典〕(祐庄吉)	35
アイヌ語集(赤木三兵)(山音文学会)	37
アイヌ語集(宇川文昌)(山音文学会)	46
アイヌ語集(山音文学会 1963)	36
アイヌ語獣名集	39
アイヌ語樹木名考	34
アイヌ語小辞典	46
アイヌ語資料叢書 5	41
アイヌ語地形語彙	38
アイヌ語千歳方言辞典	43
アイヌ語地名 1 網走川	20
アイヌ語地名解	27
アイヌ語地名資料集成	27
アイヌ語地名地誌	21
アイヌ語地名と原日本人	25
アイヌ語地名の研究 1-4	29
アイヌ語地名の研究 別巻	29
アイヌ語地名リスト	21
アイヌ語とインド・ヨーロッパ祖語	37
アイヌ語・日本語辞典稿	42
アイヌ語入門(知里真志保)	39
アイヌ語入門(戸部実之)	36
アイヌ語の魚名考	36
アイヌ語方言辞典	40
(あいぬ - さ)	
アイヌ差別問題読本	30
アイヌ史 活動史編	8
アイヌ史 資料編	7,8
アイヌ史 / 概説	17
アイヌ史資料集 第2巻-〔5〕	31
アイヌ史資料集 第4巻-〔6〕	16
アイヌ史資料集 第4巻-〔5〕	16
アイヌ史資料集 補巻〔4〕	13,34
アイヌ史資料集 補巻〔2〕	22
アイヌ史資料集 補巻〔1〕	41
アイヌ史資料集 補巻〔3〕	41

あいぬ実話集	20
アイヌ植物誌	32
アイヌ書誌	34
アイヌ資料展覧会出陳目録.....	11
アイヌ人の著作	13
あいぬ人物伝（村上久吉）	19
アイヌ人物伝（荒井源次郎）	18
『アイヌ神謡集』辞典	48
アイヌ政策関係資料目録	5
アイヌ政策史	31
アイヌ - その再認識	15
（あいぬ - た）	
アイヌ伝統音楽収集整備計画	35
アイヌと植物	32
アイヌと植物 樹木編	34
アイヌと植物 食用編	34
（あいぬ - な）	
アイヌ七話	20
アイヌ年誌	15
アイヌの「送り儀礼」に関する文献資料	17
アイヌの歌人	20
アイヌの人類学に関する文献	33
アイヌの話	10
アイヌの本	15
アイヌの民具	33
（あいぬ - は）	
アイヌ風俗品陳列目録	14
アイヌ文学文献考	48
アイヌ文化研究者・知里真志保博士とその著作目録	19
アイヌ文化採録テープ所在調査報告書	8
アイヌ文化史	16
アイヌ文化その保存と記録	5
アイヌ文化展図録	5
アイヌ文化展展示品図録	6
アイヌ文化の基礎知識	5
アイヌ文化の記録と保存	5

アイヌ文献目録	10
アイヌ文献目録 和文編	12

(あいぬ - ま)

アイヌ民族近代の記録	6, 10
アイヌ民族誌	6
アイヌ民族に関する指導の手引き	30
アイヌ民族の有用植物	32
〔アイヌ民族博物館〕企画展 第10回 描かれた近世アイヌの風俗.....	16
アイヌ民族文化財調査報告書	8
アイヌ民族文献目録 欧文編	10
旭川採集アイヌ語動詞集	37
網走湖と女満別のアイヌ語地名	24

う

ウイルト語辞典(澗瀧久治)	42
ウイルト語辞典(池上二良)	46
ウタリ語集	44
浦河地方のアイヌ語〔正〕	41
浦河地方のアイヌ語 続	41

え

エカシとフチ	19
エカシとフチを訪ねて	19
枝幸郡アイヌ語地名考	26
蝦夷語	44
蝦夷語集録	44
蝦夷語引原稿	40
蝦夷にし記	37
蝦夷西場所アイヌ語辞典	42
蝦夷風俗彙纂 前編	9

お

雄武町のアイヌ語地名解	23
オロッコ文典	45

か

「開拓使文書」アイヌ関連件名目録	12
萱野茂のアイヌ語辞典	42
カラフトアイヌ語	43
カラフトアイヌ語 文法篇	43

樺太アイヌ語植物名彙 1	32
樺太アイヌ語地名小辞典	27
樺太(サハリン)・千島の先住民族文献 和文編	13
樺太庁博物館土俗室陳列品解説	16
蝦和英三対辞書	38

き

北千島アイヌ語	43
教育のなかのアイヌ民族	30
教員養成大学におけるアイヌ文化の教材化に関する研究	15
郷土関係(アイヌ)図書資料目録(新得町図書館)	5
ギリヤーク語集	37
近世の蝦夷語彙〔1〕もしほ草	44
近世の蝦夷語彙〔2〕松前の言	44
近世の蝦夷語彙3 蝦夷語集録	44
近世の蝦夷語彙4 蝦夷語	44
近世の蝦夷語彙5 南北蝦夷地魯西亜国話通言	45
近世の蝦夷語彙6 後方羊蹄於路志	45
近代民衆の記録 5 アイヌ	6, 10

け

月刊言語 Vol.14 No.2	40
------------------	----

こ

工芸 107 アイヌ号	34
国立国会図書簡所蔵アイヌ関係資料目録 その(1)~(4)	47, 48
コタン生物記(法政大学出版局)	33
コタン生物記(北方出版社)	33

さ

札幌のアイヌ語地名を尋ねて	30
更科源蔵アイヌ関係著作集 6	27
沙流郡のアイヌ語地名	26
沢井トメノ十勝本別アイヌ語分類辞典	40

し

シサム・アイヌ・イタク・ウプシ・カンビ	47
静内地方の伝承 織田ステノの口承文芸	36
士別地方アイヌ語地名考	28
標茶町のアイヌ地名	28
袖珍北海道土人語案内 全	41

しよっぱい河	20
白糠のアイヌ語地名	26
後方羊蹄於路志	45
知床半島西岸の地名と伝説	28
人生を聞く 沙流川の人物語	19
そ	
空知のアイヌ語地名考	28
た	
対アイヌ政策法規類集	31
端野町のアイヌ語地名	24
ち	
近文アイヌ史年表 その1	18
地勢二関スル「アイヌ」并ニ日本ノ単語	32
地名アイヌ語小辞典	22
知里真志保著作集 3	22, 39
知里真志保著作集 別巻1,2	40
知里真志保博士著作目録	11
つ	
津別町の地名起源	26
て	
データベースアイヌ語地名1 後志	23
データベースアイヌ語地名2 石狩	23
天塩川アイヌ語地名考	28
と	
東京国立博物館図版目録 アイヌ民族資料編	14
道東地方のアイヌ語地名	25
東北六県アイヌ語地名辞典	29
十勝アイヌ語地名解	25
十勝地名解	25
十勝のアイヌ語資料	40
十勝毎日新聞(1920-1939)掲載アイヌ関係記事：目録と紹介(1)(2)...	48
常呂町のアイヌ語地名	25
苫小牧市のアイヌ語地名	26
な	
南北蝦夷地魯西亞国話通言	45

に	
日本国内諸人種の言語	16
日本祖語とアイヌ祖語	45
日本の浮世絵美術館 巻1	34
日本民衆の歴史 地域編 8	17
の	
登別市立図書館所蔵・知里真志保著作目録	12
登別市立図書館所蔵山田秀三著作目録	12
は	
浜頓別町周辺のアイヌ語地名解説	27
ひ	
日高管内公共図書館(室)アイヌ関係資料所蔵目録	11
美唄アイヌ語地名考	28
ふ	
文献上のエカシとフチ	19
分類アイヌ語辞典	39
ほ	
北海道アイヌ語植物名詳表	33
北海道アイヌ語地名集	24
北海道あいぬ方言語彙集成	46
北海道ウタリ実態調査報告	31
北海道ウタリ生活実態調査報告	31
北海道ウタリ生活実態調査報告書	31
北海道通語	43
北海道土人会話	16
北海道に於けるアイヌ民族略年表	17
北海道の地名	29
北方自然民族民話集成	47
「北方四島」のアイヌ語地名ノート	24
幌別町のアイヌ語地名	22
ポン カンピソシ	9
ま	
幕別町蝦夷文化考古館吉田菊太郎資料目録 1・2	14
松前の言	44
み	
南十勝のアイヌ語地名考	29

む	
室蘭・登別のアイヌ語地名を尋ねて	22
室蘭市アイヌ語地名集	26
室蘭市のアイヌ語地名集	22
め	
明治以前のアイヌ文献	14
明治前日本人類学・先史学史	18
も	
もしほ草	44
紋別と興部のアイヌ語地名	24
よ	
吉田巖著作年表	14
る	
るもいのアイヌ語地名	27
ろ	
ロシア科学アカデミー人類学民族学博物館所蔵アイヌ資料目録	12
わ	
和愛愛和アイヌ語辞典	41
和愛辞典	46
私のアイヌ語地名調査	29
洋 書	
Ainu	9
Ainu bibliography	11
An Ainu vocabulary	37
Appendix to the third edition of Dr.Batchelor's Ainu dictionary	38
Exhibition of books related to the Ainu culture	7
The pit-dwellers of Hokkaido and Ainu place-names considered	21

所蔵アイヌ関係雑誌

2002年10月末現在、北方資料室所蔵のアイヌ関係の雑誌を誌名の五十音順に紹介する。

誌名	出版者(出版地)	所蔵状況ほか
アイヌ解放	アイヌ解放同盟(札幌)	創刊号(1972.10), No.3 (1973.10)
アイヌ関連総合研究等助成 事業研究報告	アイヌ文化振興・研究推進 機構(札幌)	1号(2002.2)
アイヌ研究	アイヌ問題研究所(釧路)	5号(1964.9)
阿夷奴研究 The AINU kenkyuu	日本阿夷奴学会(東京)	1号(大6.4)~4号(大7.5)
アイヌ語地名研究	アイヌ語地名研究会(苫小 牧)	1号(1998.12)~4号 (2001.12)
アイヌ語地名研究会会報	アイヌ語地名研究会(札 幌)	1号(1997.11)~14号(2002.3)
アイヌ語ラジオ講座テキスト	アイヌ文化振興・研究推進 機構(札幌)	平成10年度~平成14年度(各4 分冊)
アイヌタイムズ	アイヌ語ペンクラブ(平取 町)	創刊号(1997.3)~21号 (2002.3)
アイヌタイムズ 日本語版	アイヌ語ペンクラブ(平取 町)	4号(1998.3)~20号(2002.3)
アイヌの道	江口要(京都)	創刊号(1974.1)~第2号 (1974.8) *第2号は前田(東京)発行
アイヌ文化	アイヌ無形文化伝承保存 会(札幌)	1号(1976.9)~20号(1996.1)
アイヌ民族博物館研究報告	白老民族文化伝承保存財 団(白老町)	1号(1986.3)~7号(2001.6) *出版者変更:アイヌ民族博 物館(第5号~)
アイヌ民族博物館だより	白老民族文化伝承保存財 団(白老町)	No.7(1984.6)~No.46 (2000.11) No.6までの誌名:白老ポロト コタン-白老民俗資料館報- No.21からアイヌ民族博物館
アイヌ民族文化研究センタ ーだより	北海道立アイヌ民族文化 研究センター(札幌)	1号(1994.10)~16号(2002.3)
アイヌ・モンリ	アジア・アフリカ言語研究 室(東京)	1号(1957)~18号(1965.6) 出版者変更:アジア・アフリ カ言語研究室内「アイヌ文学 会」(第16号~)

誌名	出版者(出版地)	所蔵状況ほか
アイヌ・モンリ 復刻版	釧路アイヌ文化懇話会(釧路)	1号~18号 原本の出版者：アジヤ・アフリカ言語研究室
アイヌ問題研究所紀要 橋真著	高 アイヌ問題研究所(釧路)	3輯(1961.9)~4輯(1962.4)
虻田学園報	北海道土人教育会虻田学園(胆振国虻田)(発行人・大越連治)	第1号臨時発行(明治38.6), 第3号(明治39.6)
虻田学園報	北海道旧土人教育会虻田学園(胆振国虻田)(発行人・吉田巖)	第1号(明治43.1)~第7号(明治43.7)
ウタサ・カンビ 復刻版	釧路アイヌ文化懇話会(釧路)	原本の出版者：アジヤ・アフリカ言語教室, 継続後誌『アイヌ・モンリ』に収録
ウタリグス	アイヌ伝道団(札幌)	新年号(1921.1), 第8号(1921.12) 合本コピー版; 第1巻(第5号第7号 8号), 第5巻第4号(1939.4)
ウタリと教育	北海道ウタリと教育を守る会(釧路)	創刊号(1968.2), 2号, 4号(1969.5)
ウタリ之友	ウタリ之友社(札幌)	創刊号(1933.1)~12月号(1933.12)
ウタリ之光り	チン青年団文学部(鶴川町)	6号(第2年3号)(1933.2), 第15号(1938.2)
ウレシパ・チャランケ	先住民族とともに人権・共生・未来を考える会(塩山)	No.1(1996.8~5(1998.3)
蝦夷の光	北海アイヌ協会(札幌)(編集者・喜多章明)	創刊号(1930.11)~3号(1931.8) 出版者変更：北海アイヌ協会 北海道アイヌ協会; 第2号, 第3号の編集者：吉田菊太郎
上川アイヌの研究	旭川竜谷高等学校郷土部(旭川)	その1(1967)~その27(1993)
環太平洋・アイヌ文化研究	苫小牧駒沢大学アイヌ文化及び環太平洋先住民族文化研究所(苫小牧)	創刊号(2001.3)
季刊アイヌ文化	アイヌ文化振興・研究推進機構(札幌)	友の会ニュース・季刊アイヌ文化(合併版にあり), No.1(1998.3)~No.17(2002.3)
北の光 あいぬの灯	北海道アイヌ協会(札幌)	創刊号(1958.12)

誌名	出版者(出版地)	所蔵状況ほか
「国際先住民年」News	「国際先住民年」市民連絡会(東京)	創刊準備号(1992.12)~12号(1993.12) 欠:10,11号
シサム通信	アイヌ民族と共に生きるシサムの会(福岡県水巻町)	58号(1996.1),79号(1997.10)~136号(2002.10)
白老ポロトコタン 白老民俗資料館報	白老民族文化伝承保存財団(白老町)	創刊号(1982.6)~6(1983.11) No.7から「アイヌ民族博物館だより」に誌名変更
先駆者の集い	北海道ウタリ協会(札幌)	創刊号(1963.)~92(2002.8)
先住民族の10年News	先住民族の10年市民連絡会(三鷹)	7(1994.8),11(1995.2)
知里森舎通信	知里森舎(登別)	No.2(2002.3)~No.4(2002.10)
友の会ニュース	アイヌ文化振興・研究推進機構(札幌)	創刊号(1998.1)~Vol.34(2002.2) *合併版にあり
友の会ニュース・季刊アイヌ文化(合併版)	アイヌ文化振興・研究推進機構(札幌)	平成9・10年度合併版~平成13年度版
二風谷アイヌ語教室	二風谷アイヌ語教室(平取町)	創刊号(1988.5)~70号(2002.5)
ノヤ アイヌ民族情報センター通信	アイヌ民族情報センター(栗山町)	号外(1997.4)~5号(1997.7),16号(2001.7)
ピリカモシリ	ピリカモシリ社(札幌)	1号(1996.3)~20(2002.9)
ペウレウタリ	ペウレウタリの会(出版地不明)	4号(1975.9)~8号(1976.8)
ペウレウタリの会	ペウレウタリの会(釧路)	No.2(1966.7)~No.41(1966.11)
北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要	アイヌ民族文化研究センター(札幌)	創刊号(1995.3)~8号(2002.3)
北方群 アイヌ解放運動誌	石井清治(札幌)	2号(1972.8)~4号(1982.11)
「我らの郷土」	阿寒高校郷土史研究会(阿寒町)	通巻1号(1955.8)~13号(1965.3) 第1号の書名:「我らの郷土を探る」

アイヌ関係機関・団体 (2002年11月末現在)

《関係機関・団体》	
財団法人 アイヌ文化振興・研究 推進機構	〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目プレスト1・7 TEL 011-271-4171 FAX 011-271-4181
http://www.frpac.or.jp 「アイヌ文化財団収蔵品データベース」の中から、現在のアイヌ工芸伝承者制作の工芸品を見ることができるほか、刊行物の内容や目次が紹介されている。また、各地のアイヌ語教室の紹介がある。視聴できるページがあり、現在のところ、ムックリの音、過去のアイヌ語ラジオ講座を視聴できる。	
財団法人 アイヌ文化振興・研究 推進機構 アイヌ文化交流センタ ー	〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目4番13号 アーバンス クエア八重洲 TEL 03-3245-9831 FAX 03-3510-2155
ウィルタ協会	〒093-0033 網走市駒場北4丁目8-1 TEL・FAX 0152-43-5391
http://www.d2.dion.ne.jp/%7Ebunkt/index.htm 「サハリン先住民族関係書誌」ページでは、旧樺太と戦後から今日までの日本における先住民族関係の文献・言説を内容・解題つきで紹介。	
日本キリスト教団北海教区 アイ ヌ民族情報センター	〒073-0004 (事務局) 滝川市滝の川町東1-1045 日本キリスト教団滝川二の坂教会内 TEL・FAX 0125-24-3737
社団法人 北海道ウタリ協会	〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 TEL 011-221-0462 FAX 011-221-0672
http://www.ainu-assn.or.jp	
北海道環境生活部総務課アイヌ 政策推進室	〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 北海道庁 TEL 011-231-4111(大代表)
http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-soumu/soumuka/ainu/indextop.html	
北海道立アイヌ総合センター	〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 (管理(社)北海道ウタリ協会) TEL 011-221-0462 FAX 011-221-0672
http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-soumu/soumuka/ainu/ainu-center.html (北海道環境生活部総務課アイヌ政策推進室ページから)	
北海道立アイヌ民族文化研究セ ンター	〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目プレスト1・7 TEL 011-272-8801 FAX 011-272-8850
http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-ambkc/hacrc/hp/index.htm センター刊行出版物について目次や概要を紹介している。	
《博物館等》	
北海道開拓記念館	〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌53-2 TEL 011-898-0456 FAX 011-898-2657
http://www.hmh.pref.hokkaido.jp 収蔵資料を検索することができる。	

《博物館等》	
財団法人アイヌ民族博物館	〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2-3-4 TEL 0144-82-3914 (代) FAX 0144-82-3685
http://www.ainu-museum.or.jp 刊行書籍の内容紹介あり。有用植物を写真つきで紹介するほか、ムックリの演奏法解説がある。模範演奏の視聴、ウエペケレ(昔話)の視聴・ダウンロードもできる。	
昭和新山アイヌ記念館	〒052-0102 壮瞥町字昭和新山1 TEL 0142-75-2053
萱野茂・二風谷アイヌ資料館	〒055-0101 沙流郡平取町二風谷79-4 TEL 01457-2-3215 FAX 01457-2-3066
平取町立二風谷アイヌ文化博物館	〒055-0101 沙流郡平取町二風谷55番地 TEL・FAX 01457-2-2892
http://www2.town.biratori.hokkaido.jp/biratori/ (平取町ホームページから)	
静内町アイヌ民俗資料館	〒056-0011 静内町字真歌7番地1 TEL 01464-3-3094
http://www1.ocn.ne.jp/~sibchari/index.htm (静内町郷土館ホームページから) 所蔵する民具を写真つきで紹介。	
函館市北方民族資料館	〒040-0053 函館市末広町21番7号 TEL 0138-22-4128 FAX 0138-22-8874
http://www.frpac.or.jp/bunka/jouhou/museum_info/hakodate.html ((財)アイヌ文化振興・研究推進機構ページから)	
川村カ子トアイヌ記念館	〒070-0825 旭川市北門町11丁目 TEL 0166-51-2461 FAX 0166-52-6518
北海道立北方民族博物館	〒093-0042 網走市字塩見309-1 (天都山・道立オホーツク公園内) TEL 0152-45-3888 FAX 0152-45-3889
http://www.ohotuku26.or.jp/hoppohm 特別展図録の目次紹介、博物館だより、研究紀要ほか刊行物の記事名が一覧できる	
北方少数民族資料館ジャッカ・ドフニ	〒093-0045 網走市大曲2-96 TEL・FAX 0152-43-1149
http://homepage2.nifty.com/jakka_duxuni/index.html	
弟子屈町屈斜路コタンアイヌ民俗資料館	〒088-3351 弟子屈町屈斜路市街 TEL 01548-4-2128

《そのほかの団体》	
阿寒アイヌ工芸協同組合	〒085-0467 北海道阿寒郡阿寒町阿寒湖温泉4-7-19 TEL 0154-67-2727 FAX 0154-67-2657
http://www.marimo.or.jp/~akanainu 阿寒湖アイヌコタンの民芸品店や、アイヌの舞踊について紹介。	
アイヌ文化を学び継承する女性の会	〒060-0042 札幌市中央区大通西15津田ビル TEL 011-563-7686 FAX 011512-0863
財団法人 アイヌ無形文化伝承保存会	〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 TEL 011-221-0019 FAX 011-221-0037
知里森舎	〒059-0465 登別市登別本町2-36-1 TEL・FAX 0143-83-3677
ヤイユーカラの森	〒005-0854 札幌市南区常盤4条2丁目19-32 TEL 011-592-1748 FAX 011-592-6879
http://www5b.biglobe.ne.jp/~usasen/ainu.yai2.htm	

北海道立図書館 北方資料参考図書解説目録 4 《アイヌ資料》
(北 の 資 料 第 109 号)

発行日 平成 14 年 12 月 13 日

編 集 北海道立図書館北方資料室

発 行 北海道立図書館

〒069-0834 江別市文京台東町 41 番地

電話 (011) 386-8521

FAX (011) 386-6906

<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.jp/hk-tosho/top.htm>
